

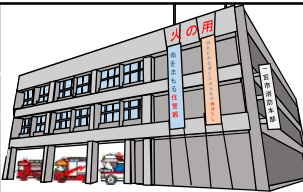
消防年報

Ichinomiya City Fire Department
Annual Report

2020 第 70 号

一宮市消防本部

一 目 統 計

			
面積・人口・世帯数	予 算	署 所	消防職員
面積 113.82Km ² 人口 384,790人 世帯数 162,551世帯 令和2年4月1日現在	一般会計予算 115,970,000千円 消防予算 4,080,905千円 令和2年度予算	消防本部 1 消防署 3 分署 1 出張所 8 令和2年4月1日現在	条例定数 400人 現員数 400人 令和2年4月1日現在

		
消防団員	消 防 車 両	1 1 9 番受信
条例定数 605人 現員数 527人 令和2年4月1日現在	タンク車 16台 ポンプ車 4台 救急車 14台 はしご車 2台 救助工作車 2台 化学車 1台 その他 27台 合 計 66台 令和2年4月1日現在	火 災 144件 救 急 17,276件 その他 6,154件 合 計 23,574件 令和元年中

			
火 災	出火原因	救 助	救 急
建 物 29件 車 両 6件 その他 24件 合 計 59件 令和元年中	1位 たき火 11件 2位 たばこ 7件 3位 放火の疑い 5件 令和元年中	出動件数 234件 活動件数 125件 救助人員 112人 令和元年中	出動件数 18,626件 搬送人員 17,716人 令和元年中

			
音 楽 隊	査察対象物	危険物施設	消防クラブ会員
隊員数 37人 令和2年4月1日現在 演奏回数 33回 令和元年度中	特定対象物 2,085か所 非特定対象物 2,650か所 令和2年4月1日現在	製造所 3か所 貯蔵所 267か所 取扱所 152か所 令和2年4月1日現在	幼年 9610人 少年 7,288人 婦人 395人 令和2年4月1日現在

一宮市民憲章

わたしたちのまち一宮市は、木曾の清流と豊かな濃尾平野にはぐくまれ、先人のたゆまぬ努力により、繊維を中心として発展してきました。

わたしたちは、このまちの市民であることに誇りを持ち、互いに手をたずさえて、未来へはばたく「心ふれあう躍動のまち一宮」をつくることをめざし、ここにこの憲章を定めます。

1. **い**のちを大切にし、
だれもが安心して暮らせる 福祉のまちをつくります。
1. **ち**きゅうを愛し、
自然も人も共生できる 住みよいまちをつくります。
1. **の**びやかに青少年が育ち、
個性を生かす 教育と文化のまちをつくります。
1. **み**どり豊かなふるさとを守り、
活力ある産業のまちをつくります。
1. **や**さしさと思いやりに満ち、
夢と希望があふれるまちをつくります。

[平成 19 年 3 月 28 日制定]

は じ め に

本市消防本部は、皆様の暖かいご支援とご協力のもと、地域に根ざした防災機関として着実に発展を遂げてまいりました。

近年は、平成 28 年熊本地震や北海道胆振東部地震をはじめとする大規模な自然災害が発生し、昨年中は台風 15 号や非常災害に指定された台風 19 号による大雨の被害も記憶に新しいところです。

今年に入り新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい国内でも多くの感染者が出ています。経済が大打撃を受け、先行きが不透明ではありますが、オール一宮市でこの難局を乗り越えていかなければならないと考えております。

また、一宮市は市制 100 周年となる令和 3 年に中核市への移行を目指しています。消防本部では大規模災害に備え、高度な救助用資機材を装備し、救助のための専門的な知識・技術を有する隊員から成る高度救助隊を編成し、市の救助体制の充実強化を図ってまいります。

結びになりますが、本市の安心・元気・協働という基本理念のもと、「木曽の清流に映え、心ふれあう躍動都市 一宮」を目指し、市民の皆様への安全・安心を高めるために消防力の充実に邁進していく所存であります。

本書は、令和 2 年 4 月 1 日現在における本市の消防体制及び令和元年中の市内で発生した火災等の実態を取りまとめて収録したものです。

ご高覧を賜り、本市消防行政の飛躍に向け、市民の皆様の一層のご理解を深めていただくための一助としていただければ幸いに存じます。

令和 2 年 7 月

一 宮 市 消 防 本 部

○2020 年度 全国統一防火標語

その火事を 防ぐあなたに 金メダル



○令和 2・3 年度 一宮市防火標語

行ってきます 出かける前に 火の確認



○一宮市住宅用火災警報器の設置促進標語

あっ！！火事だ！！

「にげろ」のめざまし じゅうけいき



目 次

I 総 括

市の概要	1
一宮市の人口・世帯数	2
消防機関の配置	3
消防のあゆみ	4
消防の主な行事	7
消防情勢の推移	9
消防本部・消防署の組織	11
消防本部・消防署の事務分掌	12
消防団の組織	13
消防本部・消防署の庁舎現況	14
消防団の庁舎現況	15
消防本部・消防署車両の現勢	17
消防団車両の現勢	20
消防音楽隊のあゆみ	21
消防音楽隊の編成	24
消防音楽隊の活動状況	24

II 総 務

当初予算の推移	25
決算額と構成の推移	25
消防職員の配置	26
消防職員の年齢	28
消防職員の勤続年数	28
消防職員資格等保有状況	29
消防職員教育研修状況	30
災害防止	31
安全管理	31
消防協力者表彰	31
施設・装備充実事業	32

III 通 信 ・ 気 象

指令システム構成図	33
無線設備	34
指令回線等一覧表	35
月別119番受信状況	36

携 帯 電 話 か ら の 月 別 119 番 受 信 状 況	37
月 別 気 象 状 況	38
一 宮 市 の 警 報 ・ 注 意 報 発 表 基 準	38

IV 消 防 団

消 防 団 の 現 況	39
消 防 団 及 び 消 防 団 員 の 状 況	39
消 防 団 の 活 動 状 況	39
年 報 酬 額	40
費 用 弁 償	40
消 防 団 員 の 退 職 状 況	40
消 防 団 員 の 新 任 状 況	40
消 防 団 員 の 職 業 構 成 と 就 業 形 態	40
消 防 団 員 の 年 齢	41
消 防 団 員 の 勤 続 年 数	42

V 予 防

火 災 予 防 普 及 活 動 状 況	43
幼 年 ・ 少 年 ・ 婦 人 消 防 ク ラ ブ の 現 況	43
街 頭 消 火 器 設 置 状 況	44
街 頭 消 火 器 火 災 使 用 状 況	45
査 察 対 象 物 数	46
中 高 層 建 築 物 数	47
各 種 届 出 件 数	48
用 途 別 同 意 建 築 物 数	49
危 険 物 施 設 数	50
指 定 数 量 の 倍 数 ・ 類 別 危 険 物 施 設 数	51
危 険 物 施 設 の 設 置 ・ 変 更 許 可 等	52
タ ン ク 検 査 状 況	52
危 険 物 施 設 届 出 等 状 況	52

VI 火 災

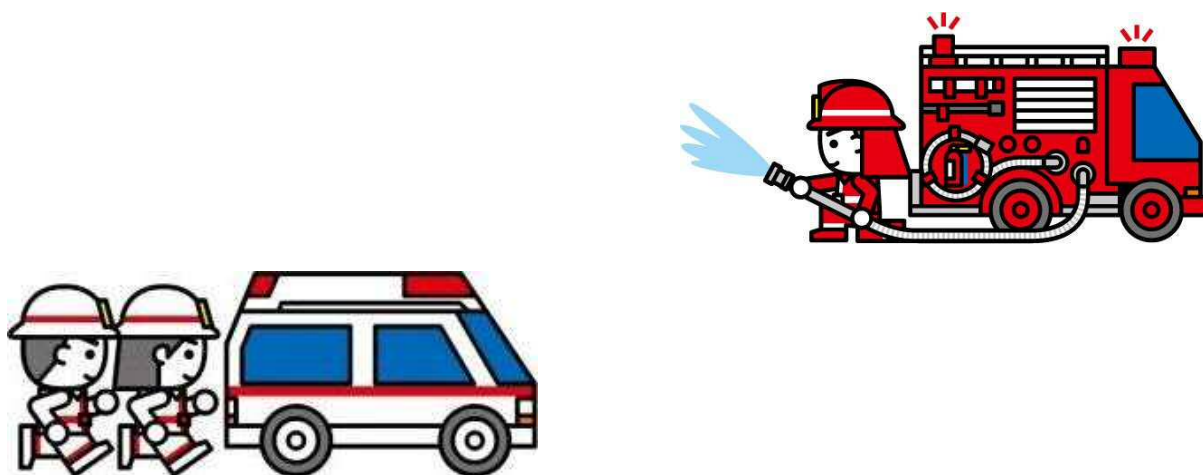
火 災 の 概 況	53
出 火 原 因	54
建 物 用 途 別 ・ 原 因 別 件 数	55
連 区 ・ 月 別 の 火 災 件 数	56
過 去 10 年 間 の 火 災 発 生 件 数	58
高 速 道 路 の 火 災	59

VII 警 防

消 防 車 両 の 配 置 状 況	6 0
災 害 種 別 の 出 動 状 況	6 1
月 別 庁 外 業 務 活 動 状 況	6 2
消 防 活 動 用 資 器 材 の 配 置	6 3
消 防 水 利 の 現 況	6 5
応 援 協 力 計 画	6 6
緊 急 消 防 援 助 隊 の 概 要	6 7
緊 急 消 防 援 助 隊 の 派 遣 に つ い て	6 7

VIII 救 急 ・ 救 助

過 去 1 0 年 間 の 救 急 活 動 状 況	6 9
曜 日 ・ 月 別 救 急 出 動 件 数	7 0
曜 日 ・ 月 別 救 急 搬 送 人 員	7 1
地 区 別 救 急 出 動 件 数	7 2
地 区 別 救 急 搬 送 人 員	7 2
現 場 到 着 所 要 時 間 別 救 急 出 動 件 数	7 3
収 容 所 要 時 間 別 救 急 搬 送 人 員	7 3
年 齢 区 分 ・ 傷 病 程 度 別 救 急 搬 送 人 員	7 4
救 急 高 度 化 の 推 移	7 5
救 急 隊 員 の 行 っ た 応 急 処 置 等 件 数	7 6
高 速 道 路 の 救 急 活 動 状 況	7 8
応 急 手 当 等 の 普 及 活 動 状 況	7 9
救 助 活 動 状 況	8 0
月 別 救 助 出 動 状 況	8 1
救 助 訓 練 等 実 施 状 況	8 2



総括



市の概要

一宮市は、広大な濃尾平野のほぼ中央に位置し、温和な気候、風土に恵まれ、早くから発展してきました。

大正 10 年 9 月 1 日に市制を施行、昭和 15 年に葉栗村、西成村と合併して市域を拡大し、近代都市としての形態を整えるに至りました。

そして、昭和 30 年 1 月に丹陽村と浅井町、4 月に北方村、大和町、今伊勢町、奥町、萩原町、千秋村とそれぞれ合併し、さらに平成 17 年 4 月に尾西市、木曽川町と合併し現在の 113.82 km^2 の都市が実現しました。

令和 2 年 4 月 1 日現在、人口 384,790 人、世帯数 162,551 世帯となり、市北部から西部へと約 18 キロメートルにわたって接する木曽川がはぐくんだ豊かな自然や、これまで蓄積された歴史・文化を礎に、安心・元気・協働の基本理念のもと、「木曽の清流に映え、心ふれあう躍動都市 一宮」を将来像としたまちづくりを目指し躍進を続けています。

愛知県



一宮市



■位置：北緯 35 度 18 分、東経 136 度 48 分

■面積：113.82 km^2

東西 15.3 km、南北 13.3 km

■人口：384,790 人

男 188,128 人 女 196,662 人

■世帯数：162,551 世帯

■人口密度：3,380 人/ km^2

(令和 2 年 4 月 1 日現在)

■Location: Lat. 35° 18' N&Long. 136° 48' E

■Area: 113.82 km^2

East-West: 15.3 km、North-South: 13.3 km

■Population: 384,790 people ;

Male: 188,128 people, Female: 196,662 people

■Number of households: 162,551 households

■Population density: 3,380 people/ km^2

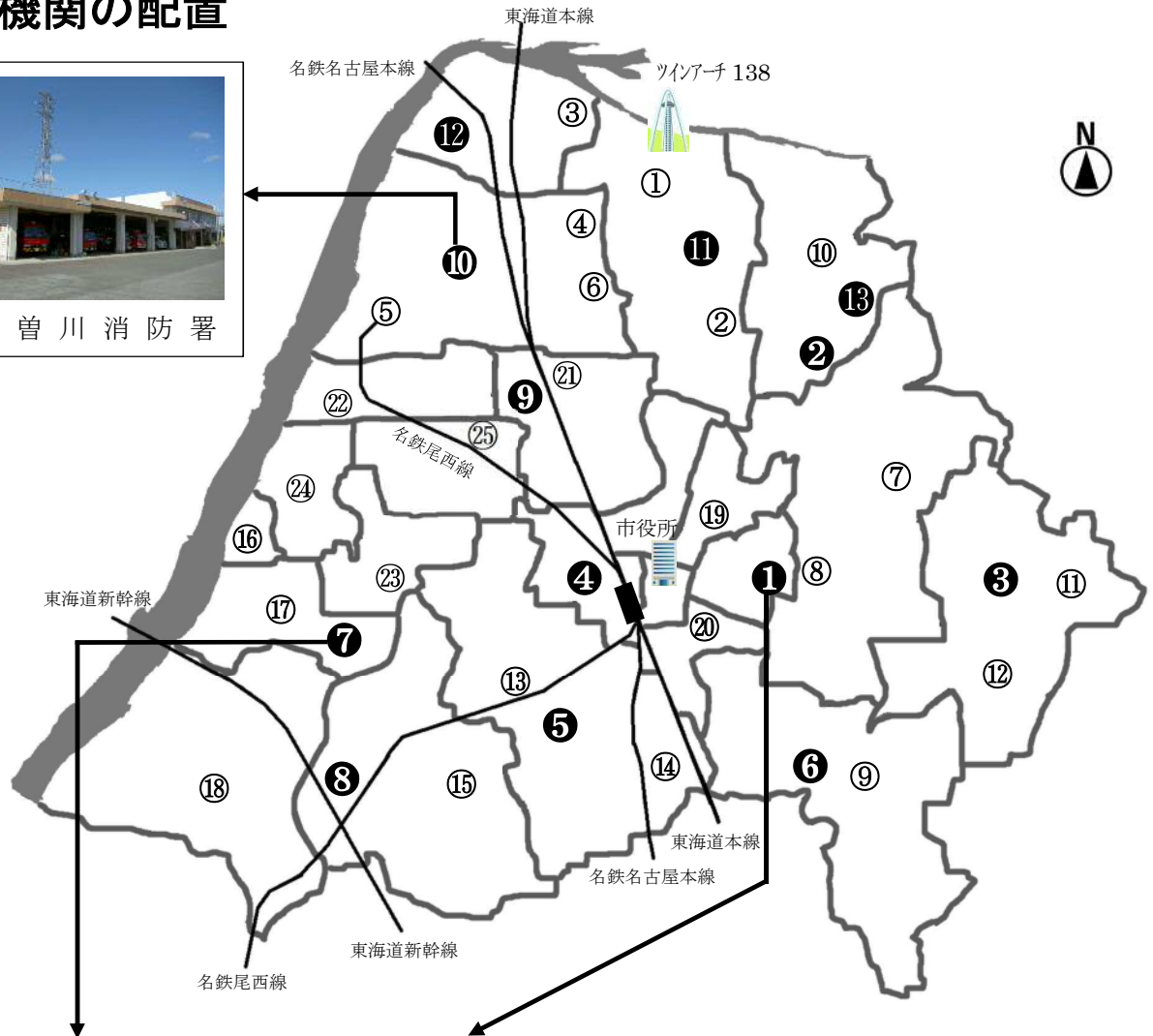
(As of April. 1. 2020)

一宮市の人口・世帯数

令和2年4月1日現在

区 分	世 帯 数	人 口		
		総 数	男	女
合 計	162,551	384,790	188,128	196,662
宮 西	5,002	11,438	5,511	5,927
貴 船	5,259	11,866	5,678	6,188
神 山	7,201	15,632	7,581	8,051
大 志	2,324	5,007	2,371	2,636
向 山	4,060	9,201	4,490	4,711
富 士	4,383	9,646	4,656	4,990
葉 栗	6,748	16,792	8,233	8,559
西 成	14,333	34,756	17,087	17,669
丹 陽 町	12,465	28,532	14,402	14,130
浅 井 町	8,267	19,808	9,585	10,223
北 方 町	3,830	9,553	4,678	4,875
大 和 町	18,398	42,494	20,827	21,667
今 伊 勢 町	11,493	26,602	13,001	13,601
奥 町	5,782	14,415	6,956	7,459
萩 原 町	7,682	18,421	8,950	9,471
千 秋 町	6,894	17,432	8,537	8,895
起	1,410	3,274	1,590	1,684
小 信 中 島	4,309	10,897	5,361	5,536
三 条	5,626	13,367	6,450	6,917
大 徳	4,277	10,268	5,045	5,223
朝 日	5,134	12,575	6,147	6,428
開 明	3,539	8,464	4,134	4,330
木 曾 川 町	14,135	34,350	16,858	17,492

消防機関の配置



※詳しくはこちらをご覧ください

一宮市公式ウェブサイト内
地図情報サイト「138 マップ」

<https://www.sonicweb-asp.jp/ichinomiya>



【施設・地域情報】



【消防施設】

消防本部・消防署・出張所					分団庁舎			
①	消防本部	⑦	尾西消防署		北部	東部	南部	西部
	一宮消防署本署	⑧	萩原消防出張所		方面隊	方面隊	方面隊	方面隊
②	浅井・西成消防出張所	⑨	今伊勢・奥消防出張所		① 葉栗北	⑦ 西成北	⑬ 大和西	⑰ 真清北
③	千秋消防出張所	⑩	木曽川消防署		② 葉栗南	⑧ 西成南	⑭ 大和東	⑳ 真清南
	消防署整備工場	⑪	葉栗消防出張所		③ 北方	⑨ 丹陽	⑮ 萩原	㉑ 今伊勢
④	八幡消防分署	⑫	北方消防出張所		④ 木曽川北	⑩ 浅井	⑯ 起	㉒ 奥
⑤	大和消防出張所	⑬	浅井消防倉庫		⑤ 木曽川西	⑪ 千秋北	⑰ 大徳	㉓ 三条
⑥	丹陽消防出張所				⑥ 木曽川東	⑫ 千秋南	⑱ 朝日	㉔ 小信中島
	消防訓練施設							㉕ 開明

消防のあゆみ

(一):旧一宮市消防本部

(尾):旧尾西市消防本部

(木):旧木曽川町消防本部

昭和23年 3月(一)	消防組織法施行により一宮市消防本部を創設し、従来の常備消防部を消防署に昇格
昭和23年 3月(木)	消防組織法施行により警察機関から分離した消防団発足
昭和25年11月(一)	消防庁舎(旧庁舎)が新柳通1の29地内(現本町1丁目)に完成
昭和25年12月(一)	市を縦断する東海道線の西部地区警備体制強化のため、八幡出張所を開所
昭和30年 1月(尾)	中島郡起町と朝日村が合併し市制を施行、尾西市が誕生と同時に尾西市消防団を設置、1団制6分団、消防ポンプ自動車6台、団員195名で発足
昭和30年 4月(尾)	尾西市に中島郡今伊勢町開明地区を編入、境界変更に伴い消防団を再編、1団制7分団、消防ポンプ自動車7台、団員227名で再発足
昭和33年 9月(一)	消防署に救護隊を新設し救急業務を開始
昭和33年10月(尾)	市総務課に中短波無線電話を設置
昭和35年 4月(一)	奥出張所を奥町字下口西地内に開所
昭和35年 9月(尾)	市総務課に職員7名をもって常備消防体制が発足
昭和35年10月(尾)	尾西市消防本部設置条例を制定
昭和35年12月(一)	萩原出張所を萩原町萩原地内に開所
昭和36年 9月(一)	浅井出張所を浅井町東浅井地内に開所 東部出張所を千秋町佐野地内に開所 なお敷地内に整備工場を併設し、業務を開始
昭和37年 4月(尾)	消防本部職務規則を制定し救急業務開始
昭和37年 9月(一)	南部出張所を丹陽町猿海道地内、北部出張所を大字更屋敷地内に開所
昭和39年 3月(尾)	昭和35年制定の消防本部設置条例を廃止し、新たに消防本部・署設置条例を制定
昭和39年 9月(尾)	昭和37年制定の消防本部職務規則を廃止し、新たに消防本部組織及び職務規則並びに消防署職務規程を制定
昭和40年 6月(尾)	消防庁舎が東五城地内に完成(旧庁舎)
昭和43年 4月(一)	消防庁舎(本部・本署)が花祇通6丁目(現庁舎)に完成
昭和43年 4月(木)	政令指定により消防本部(署)発足・消防庁舎(旧庁舎)完成
昭和45年 2月(木)	救急車(兼広報車)を購入し救急業務開始
昭和53年 5月(木)	消防庁舎が黒田地内に完成(現木曽川署)
昭和55年 1月(一)	大和出張所を大和町荏安賀地内に開所
昭和57年 1月(一)	西成出張所を大字西大海道地内に開所

昭和57年 6月(尾)	消防本部組織及び職務規則並びに消防署職務規程を改正し、消防本部は庶務係、消防係、予防係の3係、消防署は警備第1・2係、通信第1・2係、整備係の5係
昭和61年 1月(一)	今伊勢消防出張所を今伊勢町馬寄地内に開所 出張所の名称が変更され、南部出張所が丹陽出張所に、東部出張所が千秋出張所になり、出張所の名称を「消防出張所」と改称
昭和62年 3月(一)	葉栗消防出張所を大字大毛地内に救急業務を主体として開所
昭和63年 1月(一)	消防署八幡消防分署に部隊を増強、東西の出動体制を確立
昭和63年12月(尾)	消防本部及び消防署の組織に関する規則・規程を新たに制定
平成元年10月(一)	大和消防出張所に救急隊を配置
平成元年11月(尾)	消防庁舎が西五城地内に完成(現尾西署)消防緊急通信指令施設(I型)及び消防団緊急伝達システム運用開始
平成 2年 3月	愛知県下広域消防相互応援協定締結
平成 2年 4月(一)	消防本部の組織改革を行い、予防防災課を新設、従来の管理課を総務課と改称
平成 2年 5月	尾張西北部地区消防相互応援協定締結
平成 3年 4月(一)	北部消防出張所が北方消防出張所になり、北方町北方地内に開所 葉栗消防出張所に消防隊を配置
平成 4年 3月(一)	消防緊急通信指令システムを導入し、情報連絡体制を確立 市民への防災思想普及を目指し「一宮市民防災センター」を開所
平成 5年 3月(木)	消防緊急通信指令施設(I型)を運用開始
平成 5年 4月(尾)	消防本部の組織に関する規則を改正、消防署の組織に関する規程を改正
平成 5年 4月(一)	救急救命士1名、救急Ⅱ課程修了者3名により、高規格救急自動車の運用開始
平成 5年 8月(一)	救急救命率向上を目指し、生体情報伝送装置を導入
平成 7年 6月(一)	緊急消防援助隊発足 本市消防は救急部隊を編成登録
平成 8年 1月(木)	消防庁舎車庫増築、救急救命士2名により高規格救急自動車運用開始
平成 9年 3月(一)	浅井消防出張所を浅井町小日比野地内に移転
平成10年12月(一)	千秋消防出張所を千秋町佐野字加村地内に移転
平成11年 4月(一)	東海北陸自動車道の開通に伴い、葉栗消防出張所に救助隊を配置
平成12年11月(尾)	聴覚障害者用119番受信ファクシミリを導入
平成13年 4月(一)	消防本部の組織改革を行い、予防防災課予防防災係を予防係と防災係に分化
平成14年 3月(尾)	消防緊急通信指令施設(I型)を更新
平成14年 4月(一)	千秋消防出張所に救急隊を配置し、救急隊7隊すべて高規格救急自動車で運用
平成14年 4月(尾)	消防本部及び消防署の組織に関する規則を改正し予防係を予防防災係、警備係を火災救助係とした。
平成15年 4月(一)	緊急消防援助隊に消火部隊を編成登録、救急部隊を追加編成登録

平成16年 8月	市町合併を前に消防緊急通信指令システムを更新し、一宮市消防本部と木曽川町消防本部が共同通信運用開始
平成17年 4月	一宮市、尾西市、木曽川町との合併に伴い、一宮市消防本部はそのまま、旧尾西市消防本部は尾西消防署、旧木曽川町消防本部は木曽川消防署に名称変更
平成19年 4月	一宮市消防団3団(一宮・尾西・木曽川)の報酬、費用弁償、階級を統一
平成20年 4月	一宮市消防団3団の連合を一団に統合
平成21年 4月	八幡消防分署に特別救助隊を、丹陽消防出張所に救急隊を配置 女性消防吏員を初採用 一宮市消防団第7方面隊(木曽川)を再編、30分団を26分団とした。
平成23年 4月	萩原消防出張所庁舎移転に伴い、救急隊を配置 尾西消防署に特別消防隊を配置
平成24年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新
平成24年 4月	一宮市消防団を再編、26分団を25分団、7方面隊を4方面隊とし、尾西地区の分団名称を変更
平成25年 4月	今伊勢消防出張所と奥消防出張所の統合に伴い、今伊勢・奥消防出張所を開所し、救急隊を配置
平成27年 3月	「一宮市民防災センター」を閉所
平成28年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新 消防救急デジタル無線設備整備
平成28年 4月	「一宮市・稲沢市消防指令センター」を運用開始 八幡消防分署の特別救助隊を一宮消防署本署に配置 消防署の組織に関する規程を改正、従来の一宮消防署管理グループを管理課と改称
平成29年 3月	一宮消防署本署に支援車を導入
平成29年 4月	浅井消防出張所と西成消防出張所の統合に伴い、浅井・西成消防出張所を開所し、救急隊を配置 一宮消防署本署に特別消防隊を配置
平成31年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新
令和 2年 2月	旧丹陽消防出張所を解体し、訓練スペースを整備

消防の主な行事

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

平成31年、令和元年			
月	日	行 事 名	実 施 場 所
4月	7日	一宮市消防団員任命式	尾西消防署
5月	3～5日	リバーサイドフェスティバル	138タワーパーク
	8・9日	第1回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	17日	消防本部安全衛生委員会	消防本部
	21日	テロ災害対策共同実動訓練	光明寺公園球技場及びその付近一帯
	26日	愛知県尾張水害予防組合水防・防災訓練	岩倉市
	29・30日	第2回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
6月	2日	浅井町連区防災訓練	浅井北小学校、浅井中小学校、浅井南小学校
	5日	危険物施設消防訓練	オリザ油化株式会社
	6日	岐阜県防災航空隊及び3消防本部合同水難救助訓練 (一宮市・羽島市・羽島郡)	木曽川右岸(羽島市正木町地内)
	9日	今伊勢町連区防災訓練	今伊勢小学校
	9日	第19回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサート	一宮市民会館
	12・13日	第3回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	23日	第15回一宮市消防団操法大会	九品地公園競技場
7月	20日	第64回愛知県消防操法大会	蒲郡市
	24日	消防職員委員会	消防本部
	31日	少年消防クラブ員県消防学校一日入校 (中島・木曽川西)	愛知県消防学校
8月	1日	少年消防クラブ員県消防学校一日入校 (浅井北・開明)	愛知県消防学校
9月	7日	一宮市救急フェア2019	イオンモール木曽川
	17日	三市消防本部合同水難救助訓練(一宮市・稲沢市・羽島市)	木曽川左岸(稲沢市祖父江町地内)
	29日	木曽川町連区防災訓練	黒田小学校
10月	20日	小信中島連区防災訓練	小信中島小学校
	23日	令和元年度緊急消防援助隊愛知県大隊合同訓練	七宝鷹居グラウンド(あま市)
	25日～ 12月5日	児童防火作品入賞作品展示	中央図書館、尾西図書館、木曽川庁舎
	24日	朝日連区防災訓練	朝日東小学校
	27日	千秋町連区防災訓練	千秋中学校
	31日	消防本部安全衛生委員会	消防本部
11月	1日	女性消防クラブ指導者科入校(丹陽町連区婦人消防クラブ)	愛知県消防学校
	1日	令和元年度緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練	福井県庁
	3日	一宮市消防団観閲式	尾西河川敷グラウンド
	5日	警察等合同危険物車両路上立入検査	毛受地内主要地方道岐阜稲沢線

月	日	行 事 名	実 施 場 所
11月	6日	尾張西北部地区消防合同訓練	トヨタ名古屋自動車大学校(清須市)
	10日	第41回一宮市消防音楽隊定期演奏会	一宮市民会館
	10日	大徳連区防災訓練	尾西消防署
	10日	北方町連区防災訓練	北方小学校
	10日	萩原町連区防災訓練	萩原小学校
	17日	宮西連区防災訓練	宮西小学校
	17日	神山連区防災訓練	神山小学校
	17日	三条連区防災訓練	三条小学校
	19・20日	第4回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	21・22日	第5回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	26～29日	令和元年度警防技術発表会	尾西消防署
	30日	車両構造講習会及び訓練会	東海旅客鉄道株式会社(名古屋工場)
12月	8日	起連区防災訓練	起小学校
	18日	一般教養「女性消防吏員が増えてきた！」 ～みんなが働きやすい職場環境に	消防本部
	18日	年末特別査察	テラスウォーク一宮・ピアゴ尾西店
	19日	年末特別査察	ピアゴ妙興寺店、名鉄百貨店一宮店、 イオンモール木曽川、一宮ニッケ・コーナン プラザ
	20日	年末特別査察	エディオン一宮本店、メガドンキホーテ一宮大和店、 パロー一宮西店
	29・30日	消防団年末特別警戒	各分団庁舎
令和2年			
1月	17日	令和元年度愛知県国民保護共同図上訓練	愛知県庁、一宮市役所
	19日	一宮市消防出初式 県少年消防クラブ表彰（葉栗北小学校）	九品地公園競技場
	24日	文化財防火訓練	賀茂神社
2月	6日	甲種防火管理再講習会	一宮市消防本部
	10日	車両構造講習会(新幹線)	東海旅客鉄道株式会社(名古屋車両所)
	13日	一般教養「多数傷病者の対応について」	消防本部

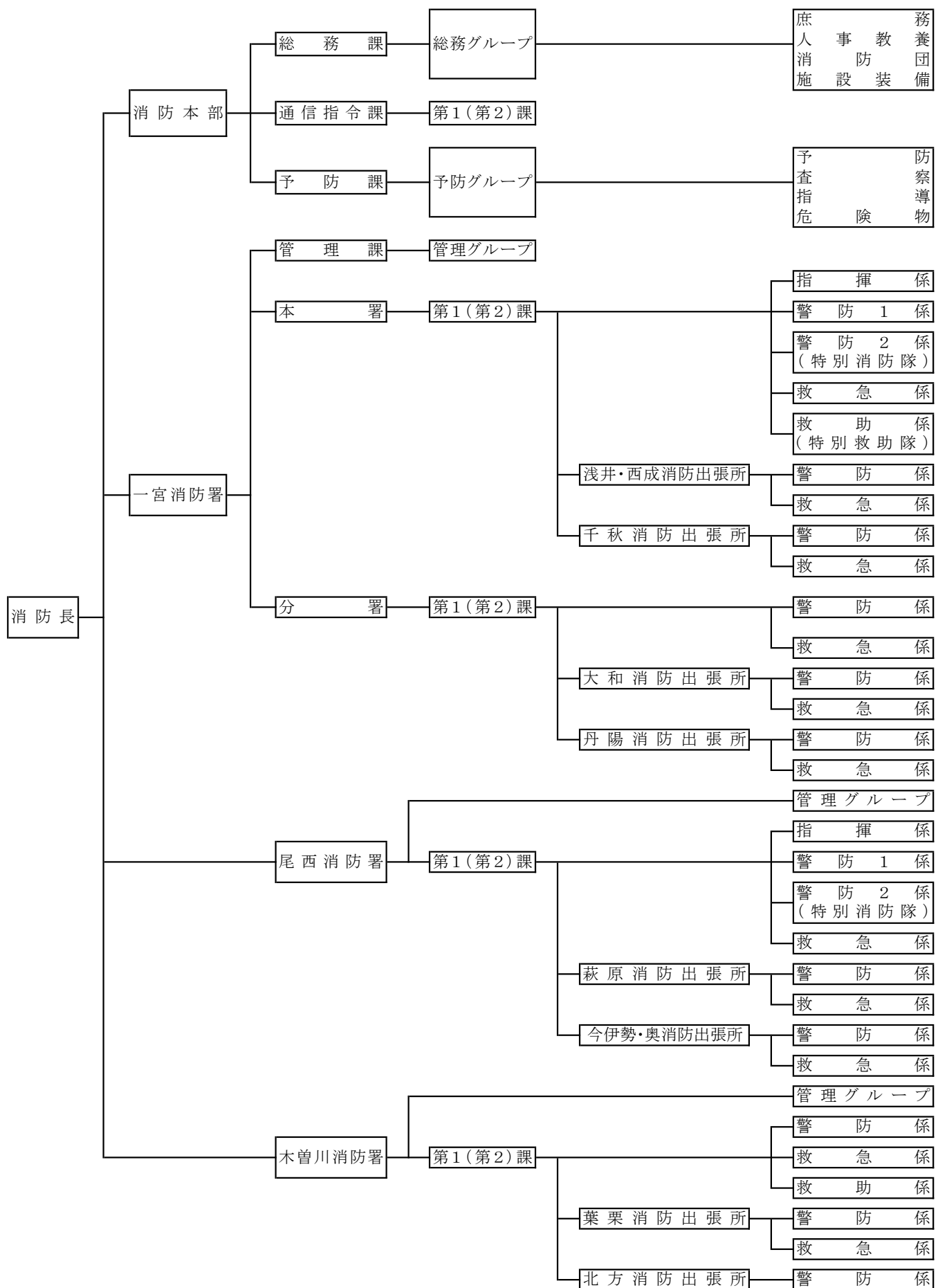
消防情勢の推移

	年別	市 勢		(消(千 年防予円 度予算)	職員(実員)		水利(公設のみ)		
		人 口	世 帯		消 防 吏 員	そ の 他	消 火 栓	防 火 井 戸	防 火 水 槽
旧一宮市	平成12年	278,869	91,295	2,491,621	251	1	2,707	378	272
	平成13年	279,115	91,796	2,635,074	256	1	2,746	378	273
	平成14年	280,778	94,064	2,730,724	269	1	2,794	374	274
	平成15年	281,772	95,888	3,536,546	265	1	2,854	373	276
	平成16年	283,079	98,013	2,555,423	265	1	2,895	370	278
旧尾西市	平成12年	58,668	18,800	690,273	67	1	568	185	23
	平成13年	58,963	19,049	716,541	65	2	574	184	23
	平成14年	58,932	19,264	587,803	63	3	581	185	23
	平成15年	58,901	19,518	719,320	63	3	604	227	23
	平成16年	59,006	19,894	580,935	63	2	618	227	23
旧木曽川町	平成12年	31,457	10,307	422,413	38	1	223	26	75
	平成13年	31,576	10,440	435,446	38	1	223	26	75
	平成14年	31,848	10,666	410,040	40	1	224	26	75
	平成15年	32,065	10,834	535,346	42	1	224	26	75
	平成16年	32,340	11,052	403,905	44	1	224	26	75
一宮市	平成17年	377,216	133,401	3,642,931	364	3	3,784	621	373
	平成18年	378,725	135,786	3,453,484	367	2	3,818	619	377
	平成19年	381,036	138,435	3,552,094	369	1	3,841	615	377
	平成20年	383,308	141,180	3,532,269	368	1	3,868	613	377
	平成21年	384,706	143,259	3,420,599	368	1	3,886	612	377
	平成22年	385,772	144,838	3,449,748	374	1	3,910	611	377
	平成23年	386,132	146,178	3,566,530	383	1	3,946	611	377
	平成24年	386,390	147,585	3,608,915	388	1	3,960	608	377
	平成25年	386,447	148,759	3,496,663	388		3,978	607	377
	平成26年	386,429	150,754	3,453,097	386	1	3,980	606	377
	平成27年	386,410	152,651	4,650,533	382	1	3,988	605	375
	平成28年	386,094	154,692	3,934,001	389		4,005	603	375
	平成29年	386,105	156,693	3,716,700	389		4,017	603	375
	平成30年	385,777	158,534	4,263,243	390		4,023	603	375
	令和元年	385,160	160,426	4,049,916	396		4,032	603	375
	令和2年	384,790	162,551	4,080,905	400		4,040	603	376

(備考) 旧一宮市の市勢、職員、水利、消防団については、平成12年までは1月1日現在の数値、平成13年以降は4月1日現在の数値

火 災				救 急		救 助		消 防 団	
火災 件数	損害 額 (千円)	死 者	負 傷 者	出 動 件 数	搬 送 人 員	出 動 件 数	救 助 人 員	消 防 団 数	団 員 数 (実員)
167	362,028	1	15	7,980	8,046	156	77	1	316
171	219,923	1	14	8,058	8,186	144	64	1	315
152	300,597	5	6	8,308	8,375	127	59	1	316
145	369,009	1	10	9,055	9,009	152	66	1	316
154	219,349	2	24	9,721	9,708	167	65	1	319
35	28,186	4	1	1,368	1,422	10	10	1	149
21	20,788		4	1,397	1,432	12	14	1	154
37	69,740	3	5	1,452	1,486	20	17	1	153
30	28,574		3	1,662	1,678	15	18	1	151
38	15,981		4	1,807	1,815	28	11	1	152
13	5,786	1	1	704	705	2		1	122
20	95,841		2	747	755	10	6	1	122
17	31,124	1	3	864	861	5	8	1	123
10	44,743		1	856	855	5	3	1	118
12	20,938			1,000	1,006	7	4	1	117
160	284,098	7	9	13,600	13,407	156	63	3	582
169	823,324	5	35	13,622	13,346	171	78	3	587
199	496,587	9	19	13,784	13,444	213	83	3	583
164	120,129	10	15	13,478	12,935	183	103	1	580
162	166,070	5	27	14,007	13,403	203	99	1	562
131	121,566	8	20	14,786	14,078	195	76	1	543
131	162,609	7	15	15,692	14,887	214	90	1	540
101	116,025	2	20	15,400	14,574	163	67	1	526
87	201,673	3	6	15,674	14,874	193	86	1	500
104	248,407	5	13	15,592	14,629	196	77	1	502
83	87,236	5	9	16,167	15,257	190	86	1	510
99	55,087	3	16	16,882	15,923	210	113	1	516
80	96,788	2	13	17,381	16,416	229	119	1	516
68	365,878	4	10	18,274	17,262	241	109	1	526
59	196,002	1	8	18,626	17,716	234	112	1	531
—	—	—	—	—	—	—	—	1	527

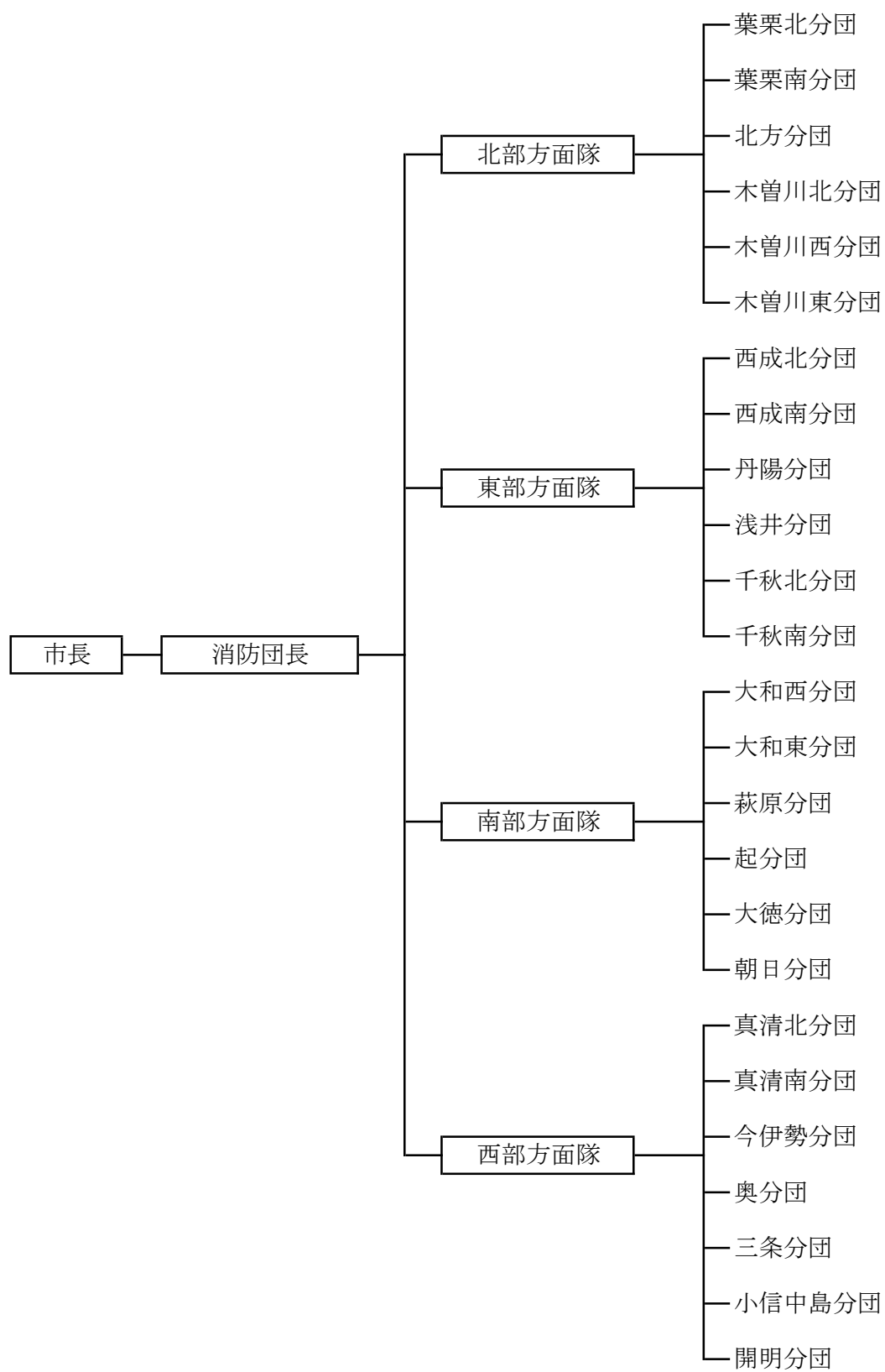
消防本部・消防署の組織



消防本部・消防署の事務分掌

消 防 本 部	
総 務 課	○予算の執行及び経理、文書の管理、統計、消防総合計画の企画調整 ○職員の人事及び教養、安全管理及び衛生管理、表彰、音楽隊、消防職員委員会、福利厚生、広報 ○消防団、水防、儀式 ○施設、水利、車両及び装備の整備、消防相互応援、消防計画
通 信 指 令 課	○災害受信、消防部隊の統制運用、消防通信の運用、消防防災に係る情報収集及び伝達、無線局の管理、無線従事者の選任及び解任、庁内情報システムの運用
予 防 課	○火災予防対策の企画調整、火災の調査及び火災調査技術の研究指導 ○防火管理、査察基準の策定及び査察技術の指導、火災予防査察、防火対象物の定期点検制度及び自主点検制度 ○建築確認及び許可の同意、建築物等の防火及び防災、消防用設備等の設置の指導及び検査 ○危険物の規制及び指導、危険物製造所等の許認可及び検査、危険物取扱者及び危険物保安監督者の育成指導、少量危険物及び指定可燃物等の規制、液化石油ガス等の保安、防火対象物の違反処理
消 防 署	
管 理 課 (一宮消防署)	○消防署の予算編成、所管施設及び車両の修繕、消防署の企画調整、災害の警戒及び防ぎょ、救急統計、消防署員の救急教育及び訓練、救急の普及及び応急手当指導
管理グループ (尾西消防署) (木曽川消防署)	○火災予防条例等の届出、防火管理、火災予防査察、火災の調査、消防団、所管施設及び車両の修繕
指 揮 係 警 防 1・2 係	○災害の警戒及び防ぎょ、警防計画及び訓練、地理及び水利の調査研究、火災予防査察、火災の調査、自主防災会、消防署の庶務、火災予防条例等の届出
救 急 係 救 助 係	○救急及び救助活動並びに災害の警戒及び防ぎょ、火災予防査察、救助の統計、消防署の設備の管理

消防団の組織



消防本部・消防署の庁舎現況

令和2年4月1日現在

名 称	所 在 地	構 造	延床面積(㎡)	敷地面積(㎡)	建築年月
消 防 本 部 一 宮 消 防 署 本 署	緑 1 丁 目 1 番 10 号	鉄筋コンクリート造3階建	2,667.00	3,419.99	S43.3
浅井・西成消防出張所	浅井町東浅井字新開前27番地	鉄 骨 造 2 階 建	572.45	2,730.45	H29.3
千 秋 消 防 出 張 所	千秋町佐野字加村1番地1	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	359.07	1,323.00	H10.11
消 防 署 整 備 工 場 (防災備蓄倉庫併設)	千秋町佐野字加村1番地1	鉄 骨 造 平 家 建	147.51 (83.44)	上記に併設	H10.11
八 幡 消 防 分 署	八 幡 4 丁 目 1 番 12 号	鉄筋コンクリート造2階建	498.81	737.54	H20.9
大 和 消 防 出 張 所	大和町苅安賀字上東出37番地	鉄筋コンクリート造平家建 車庫・鉄骨造折板葺	356.68	1,421.67	S54.12
丹 陽 消 防 出 張 所	多加木4丁目30番13号	鉄 骨 造 2 階 建	384.84	1,071.01	H21.3
尾 西 消 防 署	西五城字中切浦13番地1	鉄筋コンクリート造3階建	2,290.05	6,580.70	H1.11
萩原消防出張所	萩原町串作字水絶15番地	鉄 骨 造 2 階 建	485.74	1,105.45	H23.3
今伊勢・奥消防出張所	今伊勢町馬寄字東瀬古22番地1	鉄 骨 造 2 階 建	526.69	1,852.59	H25.3
木 曾 川 消 防 署	木曾川町黒田字北宿二の切247番地1	鉄筋コンクリート造2階建	1,291.67	5,135.00	S53. 3
葉 栗 消 防 出 張 所	大 毛 字 御 申 塚 19 番 地	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	356.45	1,089.00	S62. 3
北 方 消 防 出 張 所	北方町北方字西金丸60番地	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	408.39	1,125.30	H3. 3
浅 井 消 防 倉 庫	浅井町小日比野字本郷36番地3	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	358.29	934.61	H9. 3

※()内の面積は外数で記載

消防団の庁舎現況

令和2年4月1日現在

	名 称	所 在 地	構 造	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年月
北部方面隊	葉栗北分団	光明寺字山屋敷23番地5	鉄骨造平家建	67.82	238.73	H15.12
	葉栗南分団	島村字下老光寺30番地	鉄骨造平家建	69.60	621.61	H20.3
	北方分団	北方町北方字中屋敷郷263番地	鉄骨造平家建	60.35	519.61	H5. 1
	木曽川北分団	木曽川町黒田字松山東72番地	鉄筋コンクリート造 2階建	126.00	188.24	H2. 3
	木曽川西分団	木曽川町玉ノ井字穴太部5番地	鉄筋コンクリート造 2階建	99.00	203.14	H14. 3
	木曽川東分団	木曽川町黒田八ノ通り139番地1	鉄筋コンクリート造 2階建	138.23	556.13	H13. 3
東部方面隊	西成北分団	西大海道字本郷85番地10	鉄骨造平家建	60.35	300.49	H6. 3
	西成南分団	大赤見字鷺目4番地1	鉄骨造2階建	97.94	252.00	H19.3
	丹陽分団	平島3丁目6番9号	鉄骨造平家建	63.90	376.08	H13.12
	浅井分団	浅井町前野字郷西43番地1	鉄骨造平家建	105.00	380.00	H4. 2
	千秋北分団	千秋町加納馬場字高須56番地1	鉄骨造2階建	97.94	147.61	H21.2
	千秋南分団	千秋町小山字城41番地1	鉄骨造平家建	68.90	624.01	H18.2

	名 称	所 在 地	構 造	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年月
南部方面隊	大和西分団	大和町荻安賀字火口上1665番地	鉄骨造2階建	97.94	149.75	H14.12
	大和東分団	大和町妙興寺字高畑14番地1	鉄骨造平家建	56.00	221.86	H3. 3
	萩原分団	萩原町河田方字西狭間7番地3	鉄骨造平家建	68.90	495.00	H17. 3
	起分団	起字西茜屋27番地2	鉄骨造平家建	72.90	628.10	H25.12
	大徳分団	西五城字飛石北31番地1	鉄骨造平家建	97.20	611.00	H16. 3
	朝日分団	明地字西阿古井80番地	鉄骨造平家建	72.90	490.86	H24. 3
西部方面隊	真清北分団	桜3丁目11番10号	鉄骨造平家建	50.60	352.12	S62. 3
	真清南分団	大志2丁目7番9号	鉄骨造2階建	54.88	85.96	S58. 3
	今伊勢分団	今伊勢町馬寄字吉田浦56番地1	鉄骨造平家建	60.35	593.20	H12.12
	奥分団	奥町字下口西23番地1	鉄骨造平家建	70.68	364.00	H22.2
	三条分団	三条字郷南西37番地1	鉄骨造平家建	72.90	381.95	H22.12
	小信中島分団	小信中島字中平10番地	鉄骨造2階建	116.36	281.64	H31. 2
	開明分団	開明字杵西郭69番地1	鉄骨造平家建	97.20	736.12	H15.12

消防本部・消防署車両の現勢

令和2年4月1日現在

区 分	名 称	摘 要	登録番号	車 名 型 式	購入 年度	経過 年数	ポ ン プ	
							級別	メーカー
消防本部・一宮消防署本署	本部指令車		一宮800さ1379	トヨタ DBA-ZRR85G	H26	5		
	本署指令車		一宮800さ 302	トヨタ E-SV40	H9	22		
	本署指揮車		一宮800さ1851	トヨタ CBF-TRH226S	H29	2		
	本署1号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	一宮800は 11	いすゞ PB-FSS35G3J改	H16	15	A2	日本機械
	本署2号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	一宮800は 25	日野 ADG-GX7JGWA改	H17	14	A2	長野ポンプ
	一宮1号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	一宮800は 22	三菱 KK-FL63HGX改	H15	16	A2	日本ドライ ケミカル
	本署はしご車	30m先端屈折はし ご付消防自動車	一宮830す2018	日野 2DG-FR1AJA	H30	1		
	本署救助工作車	3tクレーン装備	一宮800は 21	日野 ADG-GX7JGWA改	H17	14		
	本署救急1号車	高規格救急自動車	一宮830た 138	トヨタ CBF-TRH226S	R1	0		
	一宮救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ 681	トヨタ CBF-TRH226S	H21	10		
	本署広報1号車		一宮800さ 164	トヨタ UA-NCP59G	H14	17		
	本署広報2号車		一宮800さ 264	ニッサン TA-NT30	H13	18		
	本署広報3号車		一宮800さ 170	トヨタ GF-AT211G	H12	19		
	本署広報4号車		一宮480う1560	ダイハツ EBD-S321V	H30	1		
	本署広報5号車		一宮800さ 401	ニッサン UA-NE51	H15	16		
	本署広報6号車		一宮800さ 186	ニッサン CBA-NT30	H18	13		
	本署広報7号車		一宮500さ6305	ホンダ GF-RF1	H12	19		
	本署広報8号車		一宮100さ 286	トヨタ GE-RZH183K	H14	17		
	本署広報9号車		一宮500そ6867	ホンダ DBA-GB3	H22	9		
	搬送3号車	パワーゲート・幌	一宮800さ 335	いすゞ PB-NKS81AR	H17	14		
	支 援 車	20人乗りマイクロバス	一宮800さ1684	ニッサン ABG-DHW41	H28	3		
出張所	浅井・西成	浅井・西成1号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	日野 SDG-GD7JGAA改	H23	8	A2	モリタ
		浅井・西成2号車	消防ポンプ自動車	日野 SKG-XZU640M	H23	8	A2	モリタ
		浅井・西成救急1号車	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H30	1		
	千 秋	千秋1号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	日野 BDG-GD7JGWA改	H19	12	A2	長野ポンプ
		千秋2号車	消防ポンプ自動車	日野 TPG-XZU640M	H30	1	A2	日本機械
		千秋救急1号車	高規格救急自動車	ニッサン CBF-FPWGE50改	H23	8		

区 分	名 称	摘 要	登録番号	車 名 型 式	購入 年度	経過 年数	ポ ン プ	
							級別	メーカー
八幡消防分署	分署指令車		一宮800さ 708	ニッサン DBA-NT31	H21	10		
	分署1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮800は 66	日野 SDG-GD7JGAA改	H24	7	A2	モリタ
	分署救急1号車	高規格救急自動車	一宮830さ2721	トヨタ CBF-TRH226S	H26	5		
	分署広報1号車		一宮480う3037	スズキ HBD-DA17V	R1	0		
	搬送2号車	幌	一宮800さ 330	マツダ PB-LKS81AR	H17	14		
出張所	大 和	大和1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	日野 BDG-GD7JGWA改	H20	11	A2	長野ポンプ
		大和救急1号車	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H27	4		
	丹 陽	丹陽1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	日野 BDG-GD7JGWA改	H22	9	A2	モリタ
		丹陽救急1号車	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H28	3		
尾西消防署		尾西指令車		ニッサン CBA-MNE51	H17	14		
		尾西指揮車		トヨタ CBF-TRH226S	H27	4		
		尾西1号車	化学消防ポンプ自動車 (水 1,500ℓ、薬液 500ℓ)	三菱 KK-FK61HGX	H15	16	A2	日本機械
		尾西2号車	水槽付消防 ポンプ自動車	いすゞ SKG-FSR90S2	H28	3	A2	長野ポンプ
		一宮3号車	水槽付消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FK61HEX	H15	16	A2	日本ドライ ケミカル
		尾西はしご車	30m先端屈折はし ご付消防自動車	日野 2DG-FR1AJA	R1	0		
		尾西救急1号車	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H27	4		
		一宮救急3号車	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H19	12		
		尾西広報1号車		ニッサン GF-QU14	H11	20		
		尾西広報2号車		トヨタ GC-KR42V	H12	19		
		尾西広報3号車		スズキ HBD-DA17V	R1	0		
		搬送1号車		マツダ PB-LKS81AR	H17	14		
出張所	萩 原	萩原1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	日野 BDG-GD7JGWA改	H21	10	A2	モリタ
		萩原2号車	消防ポンプ自動車	日野 2RG-XZU640M	R1	0	A2	日本機械
		萩原救急1号車	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H26	5		
	今伊勢・奥	今伊勢・奥1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	日野 SDG-GD7JGAA改	H25	6	A2	モリタ
		今伊勢・奥2号車	消防ポンプ自動車	日野 BDG-XZU334M	H21	10	A2	モリタ
		今伊勢・奥救急1号車	高規格救急自動車	ニッサン CBF-FPWGE50改	H24	7		

区 分	名 称	摘 要	登録番号	車 名 型 式	購入 年度	経過 年数	ポ ン プ	
							級別	メーカー
木曾川消防署	木 曾 川 指 令 車		一宮800さ 529	トヨタ GF-RZJ95W	H14	17		
	木 曾 川 1 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一宮800は 65	日野 SDG-GD7JGAA改	H24	7	A2	モリタ
	一宮2号車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一宮800さ 174	三菱 KK-FK61HG改	H14	17	A2	日本機械
	木 曾 川 救助工作車	3t クレーン 装 備	一宮800は 9	日野 ADG-GD7JGWA改	H18	13		
	木 曾 川 救 急 1 号 車	高規格救急自動車	一宮830せ 301	トヨタ CBF-TRH226S	H29	2		
	一宮 救 急 2 号 車	高規格救急自動車	一宮800さ 721	ニッサン CBF-FPWGE50改	H21	10		
	木 曾 川 広 報 1 号 車		一宮480い 9920	スズキ HBD-DA17V	H29	2		
	木 曾 川 広 報 2 号 車		一宮800さ 424	トヨタ CBA-NCP59G	H17	14		
	搬送4号車	3t クレーン 装 備	一宮800さ 393	日野 ADG-FD7JLWA	H17	14		
出張所	葉 栗	葉 栗 1 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	日野 2KG-GX2ABA	H29	2	A2	モリタ
		葉 栗 救 急 1 号 車	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H25	6		
	北 方	北 方 1 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	日野 ADG-GD7JGWA改	H18	13	A2	長野ポンプ

総数 66台（消防本部・一宮消防署 36台、尾西消防署 18台、木曾川消防署 12台）

タンク車	16台(非常用3台含む)	救助工作車	2台
ポンプ車	4台	化学車	1台
救急車	14台(非常用3台含む)	その他	27台
はしご車	2台		

消防団車両の現勢

令和2年4月1日現在

区分	名称	摘要	登録番号	車名 型式	購入 年度	経過			ポンプ メーカー
						年数	級別		
北部方面隊	葉栗北分団	葉栗北分団車	積 載 車	一宮830す119	ニッサン TC-SH4F23	H18	13	B2	トーハツ
	葉栗南分団	葉栗南分団車	ポンプ車	一宮800さ100	いすゞ PB-NKR81N	H16	15	A2	モリタ
	北 方 分 団	北 方 分 団 車	ポンプ車	一宮830の119	いすゞ BKG-NMR85N	H22	9	A2	日本機械
	木曽川北分団	木曽川北分団車	積 載 車	一宮830ひ119	ニッサン CBF-SQ2F24	H23	8	B2	トーハツ
	木曽川西分団	木曽川西分団車	積 載 車	一宮830は119	ニッサン CBF-SQ2F24	H23	8	B2	トーハツ
	木曽川東分団	木曽川東分団車	ポンプ車	一宮830ね119	日野 BDG-XZU304E	H21	10	A2	モリタ
東部方面隊	西成北分団	西成北分団車	積 載 車	一宮830せ119	ニッサン TC-SH4F23	H18	13	B2	トーハツ
	西成南分団	西成南分団車	ポンプ車	一宮800さ376	日野 KK-XZU301E	H15	16	A2	モリタ
	丹 陽 分 団	丹 陽 分 団 車	積 載 車	一宮800さ112	ニッサン TC-SH4F23	H16	15	B2	トーハツ
	浅 井 分 団	浅 井 分 団 車	積 載 車	一宮830さ119	ニッサン TC-SH4F23	H18	13	B2	トーハツ
	千秋北分団	千秋北分団車	積 載 車	一宮830ち119	ニッサン TC-SH4F23	H19	12	B2	トーハツ
	千秋南分団	千秋南分団車	積 載 車	一宮830み119	ニッサン CBF-SQ2F24	R1	0	B2	シバウラ
南部方面隊	大和西分団	大和西分団車	積 載 車	一宮800さ406	ニッサン TC-SH4F23	H17	14	B2	トーハツ
	大和東分団	大和東分団車	ポンプ車	一宮830ぬ119	日野 BDG-XZU304E	H21	10	A2	小川ポンプ
	萩 原 分 団	萩 原 分 団 車	ポンプ車	一宮800さ383	日野 KK-XZU301E	H15	16	A2	モリタ
	起 分 団	起 分 団 車	積 載 車	一宮830て119	ニッサン CBF-SQ2F24	H20	11	B2	トーハツ
	大 徳 分 団	大 徳 分 団 車	ポンプ車	一宮830に119	日野 BDG-XZU304E	H21	10	A2	小川ポンプ
	朝 日 分 団	朝 日 分 団 車	積 載 車	一宮830ふ119	ニッサン CBF-SQ2F24	H24	7	B2	トーハツ
西部方面隊	真清北分団	真清北分団車	積 載 車	一宮830た119	ニッサン TC-SH4F23	H19	12	B2	トーハツ
	真清南分団	真清南分団車	ポンプ車	一宮800さ200	日野 KK-XZU301E	H14	17	A2	モリタ
	今伊勢分団	今伊勢分団車	積 載 車	一宮800さ407	ニッサン TC-SH4F23	H17	14	B2	トーハツ
	奥 分 団	奥 分 団 車	ポンプ車	一宮800さ380	日野 KK-XZU301E	H15	16	A2	モリタ
	三 条 分 団	三 条 分 団 車	ポンプ車	一宮830と119	日野 BDG-XZU304E	H20	11	A2	GMいちばら
	小信中島分団	小信中島分団車	積 載 車	一宮830な119	ニッサン CBF-SQ2F24	H21	10	B2	トーハツ
	開 明 分 団	開 明 分 団 車	ポンプ車	一宮830ほ119	日野 TKG-XZU640M	H26	5	A2	長野ポンプ

総数 25台 (ポンプ車 11台、積載車 14台)

消防音楽隊のあゆみ

明治28年、一宮銀行頭取の佐分慎一郎氏が、外国から楽器を取り寄せ、銀行員を音楽隊員に任命し「一宮音楽会」が誕生しました。その頃は、日清戦争のさなかで隊員の服装も軍国調でした。演奏活動は、一宮駅等において出兵兵士の歓送迎や宮田用水通水式記念演奏などを行いました。

明治37年には、「一宮軍楽会」に改称しました。当時、音楽隊は大変珍しい存在でしたので、名古屋第三師団の招魂祭をはじめ、豊橋・四日市・静岡・箱根など各地から演奏依頼が殺到しました。しかし、押し寄せる戦争の波には勝てず演奏活動を続けることができなくなり楽器を第四尋常小学校（現在の大志小学校）へ保管していました。

その後、一宮第一青年団が音楽隊を再結成し、昭和9年には消防組がこれを受け継ぎ、全国初の消防音楽隊が誕生しました。大森喜代三郎氏を中心として音楽隊員を増員し、先代の軍楽会同様、各方面から好評を博し、演奏活動も軌道に乗りました。しかし、太平洋戦争の激化により、またも演奏活動を中止せざるをえなくなりました。

空襲により、市内の大部分が消失しましたが、楽器は市役所の望楼に保管したので、すべて無事でした。楽器が生き残ったおかげで、隊員こそ少人数になりましたが、再び練習が開始されました。焦土と化した中から、疲弊した市民を励ますように希望のメロディーが流れはじめました。苦難の時代も音楽活動を続け、消防音楽隊として定着してきました。

昭和36年に消防音楽隊は、一宮商工会議所管弦楽団と合併し、一宮吹奏楽団となりました。本格的な吹奏楽団としてオレンジ色の帽子、上着、クリーム色のズボンを身にまとい、華やかな彩りと高度な技量を市民に披露しました。そして、昭和37年には演奏効果をより充実するため、楽器の編成に一部弦楽器を加え、名称を「一宮市音楽隊」に改称しました。昭和51年に一宮市音楽隊設置規則を制定、昭和62年には、「一宮市消防音楽隊」に改称しました。

現在は隊員37名が、市の行事はもちろん高齢者福祉施設や小中学校演奏会、各種イベント、パレード等、年間約35回の演奏活動を幅広く実施しています。

昭和55年から毎年市民会館で開催している定期演奏会では、ゲストに著名な歌手や指揮者を招いて一年間の練習の成果を発表しており、芸術の秋の一大イベントになっています。平成3年中には、一宮市制70周年記念事業に多数参加しイベントに花をそえました。

そして、平成5年は国民体育大会ソフトテニス競技会リハーサル大会の式典演奏を、平成6年には、第49回国民体育大会ソフトテニス競技会の式典演奏等を担当するなど、大会の運営に貢献するとともに、音楽隊誕生100周年を迎えました。この記念演奏会を7月と11月に2回開催し、多くの市民から好評を博しました。平成13年から、学校演奏会30周年を記念して第1回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサートを開催し、情操教育の一環として演奏技術の向上を目的に毎年演奏活動を実施しています。

<年表>

- 明治28年 一宮銀行佐分頭取を理事長として一宮音楽会が発足、日清戦争出兵兵士の歓送演奏
- 明治32年 宮田用水通水記念演奏
- 明治37年 一宮軍楽会と改称
- 昭和 2年 一宮第一青年団音楽隊と改称し、大森喜代三郎氏が隊長兼指揮者として就任
- 昭和 9年 青年団音楽隊から一宮消防組音楽隊に改め隊員も消防組員を主体として全国初の消防音楽隊が発足
- 昭和19年 太平洋戦争の激化により活動を停止
- 昭和21年 隊員25名で消防音楽隊を再編成
- 昭和36年 消防音楽隊は一宮商工会議所管弦楽団と合併し、一宮吹奏楽団としてスタート
- 昭和37年 一宮市音楽隊と改称し市営となる
- 昭和38年 創立3周年記念音楽会を開催
- 昭和43年 NHK土曜コンサートで全国放送
- 昭和44年 名古屋まつり市中パレードに出演
- 昭和46年 一宮市繊維団地完成祝典演奏
- 昭和47年 プロ野球オープン戦入場式及び演奏会、ドリル演奏を実施
- 昭和51年 一宮市音楽隊設置規則制定
一宮ライオンズクラブ結成20周年記念式典演奏
愛知県消防大会で記念演奏
- 昭和53年 一宮市民憲章制定発表会で記念演奏
一宮市スポーツ文化センター完成式で記念演奏
ロータリークラブ国際年次大会で記念演奏
- 昭和54年 日中友好国際ソフトボール大会の入場式及び演奏会
- 昭和55年 一宮市音楽隊20周年記念演奏会を開催
- 昭和62年 一宮市音楽隊を一宮市消防音楽隊と改称し、隊長の大森喜代三郎氏は名誉隊長に、隊長には消防長がそれぞれ就任
- 平成 元年 世界デザイン博覧会のJTミュージックラン、一宮フェスティバルに出演
- 平成 2年 「イーストマン・ウインド・アンサンブル」指揮者ドナルド・ハンスバーガー氏に指導を受ける
- 平成 3年 一宮市制70周年記念事業に多数参加
- 平成 4年 指揮者としてチェコスロバキア出身アントニン・キューネル氏を迎える
- 平成 5年 国民体育大会ソフトテニス競技会リハーサル大会の開会式、表彰式、閉会式の演奏を担当
- 平成 6年 第49回国民体育大会ソフトテニス競技会の開始式、表彰式、閉会式の演奏を担当
7月と11月に音楽隊誕生100周年記念演奏会を開催
- 平成 7年 第17回定期演奏会で交響詩「阪神大震災」(アントニン・キューネル作曲)を初演
- 平成 9年 第19回定期演奏会で新調したユニフォームを初披露

- 平成10年 第20回定期演奏会に名古屋市消防音楽隊(カラーガード隊リリーエンゼルス)が友情出演
- 平成13年 学校演奏会30周年を記念し、第1回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサートを開催
一宮市制80周年記念として、第23回定期演奏会に神崎愛氏をゲストとして迎える
- 平成16年 第26回定期演奏会で「しょうぼうじどうしゃじふた」を題材に子供たちの演劇を演奏
- 平成20年 第30回定期演奏会で「カルメン」をテーマにゲストによる歌と踊り、そして音楽隊とのコラボレーションを披露
- 平成21年 第31回定期演奏会で市民参加による吹奏楽と合唱のコラボレーション、合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」を披露
- 平成22年 第32回定期演奏会で「スポーツと音楽」をテーマにスポーツ&音楽ライターの玉木正之氏と元フィギュアスケート選手の中野友加里氏をゲストに迎える
- 平成23年 第33回定期演奏会で「世界を旅する」をテーマに野村哲也氏(写真家)、八木澤教司氏(作曲家)、大石邦彦氏(CBCアナウンサー)をゲストに迎える
- 平成24年 第34回定期演奏会で「ミュージカル」をテーマに新妻聖子氏(ミュージカル女優)をゲストに迎える
- 平成25年 第35回定期演奏会で「世界の中の日本」をテーマに山口晃司氏(津軽三味線奏者)、白井奈津氏(ラジオDJ)をゲストに迎える
- 平成26年 第36回定期演奏会で桂米團治氏(落語家)をゲストに迎え、桂氏の語りと音楽隊の演奏のコラボレーションによるバレエ音楽「白鳥の湖」を披露
- 平成27年 第60回七夕まつりを記念して東京ディズニーリゾート・スペシャルパレードにマーチングバンドとして出演
第37回定期演奏会で神野三枝氏(ラジオパーソナリティー)をゲストに迎え、神野氏の多彩なトークと音楽隊とのコラボレーションにより幅広い年代層に愛されている「映画音楽」を披露
- 平成28年 第38回定期演奏会で青島広志氏(作曲家)をゲストに迎え、日本の吹奏楽にスポットをあて、吹奏楽オリジナル作品を披露
- 平成29年 第39回定期演奏会で石川直氏(ルーディメンタルドラマー)をゲストに迎え、打楽器にスポットをあて、打楽器の躍動感やリズムを様々な音楽に乗せて披露
- 平成30年 第40回定期演奏会で林望氏(作家)と矢野きよ実氏(パーソナリティ・書家)をゲストに迎え、イギリス諸国を代表する作曲家の作品を中心に、音楽を時代考証しながら披露
- 令和元年 第41回定期演奏会で立浪一義氏(中日ドラゴンズOB)をゲストに迎え、高校野球の応援歌を中心に演奏を披露

消防音楽隊の編成

令和2年4月1日現在

隊 長		消防長	小島 広之
副 隊 長			佐野 正樹
常 任 指 揮 者			稲垣 雅之
フルート・ピッコロ	3	バリトンサキソフォン	1
オーボエ	1	トランペット	4
E♭ クラリネット	1	ホルン	4
クラリネット	6	ユーフォニウム	1
アルトクラリネット	1	トロンボーン	4
バスクラリネット	1	チューバ	2
アルトサキソフォン	2	ティンパニー・パーカッション	5
テナーサキソフォン	1	計	37

消防音楽隊の活動状況

令和元年度中

区 分	合 計	内 容				練 習
		演 奏				
		部 内	市関係	その他	計	
4 月	8			1	1	7
5 月	9		8	1	9	
6 月	9	1	5		6	3
7 月	5		2		2	3
8 月	2					2
9 月	15	1		8	9	6
10 月	9					9
11 月	9	2			2	7
12 月	4			2	2	2
1 月	6	1	1		2	4
2 月	2					2
3 月	6					6
合 計	84	5	16	12	33	51

総務



当初予算の推移

(単位 千円)

年度 科目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般会計		111,300,000	110,040,000	113,220,000	113,430,000	115,970,000
消 防 費		3,934,001	3,716,700	4,263,243	4,049,916	4,080,905
消防費内訳	常備消防費	3,384,566	3,407,543	3,754,638	3,571,454	3,702,484
	非常備消防費	120,790	107,406	107,184	105,313	106,717
	消防施設費	419,020	192,151	394,505	366,231	264,340
	水防費	9,625	9,600	6,916	6,918	7,364

決算額と構成の推移

(単位 千円)

年度 科目		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一般会計		106,887,317	114,494,731	113,521,211	113,679,172	115,202,350
消 防 費		3,479,629	4,470,485	3,877,787	3,718,491	4,228,143
消防費内訳	常備消防費	3,190,413	4,062,915	3,329,857	3,410,996	3,734,223
	非常備消防費	108,893	107,721	118,969	111,611	103,626
	消防施設費	170,681	290,224	419,336	186,285	383,378
	水防費	9,642	9,625	9,625	9,600	6,916
消防費の構成比		3.3%	3.9%	3.4%	3.3%	3.7%
人口一人当たりの 消防費(円)		9,005	11,569	10,044	9,631	10,960
1世帯当たりの 消防費(円)		23,082	29,286	25,068	23,731	26,670

消防職員の配置

令和2年4月1日現在(単位 人)

区 分		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計		400	1	2	15	26	78	199	31	48
消 防 本 部	消 防 長	1	1							
	消 防 本 部 次 長	1		1						
	総 課 長	1			1					
	専 任 課 長	1				1				
	総 務 課 付	4					1	3		
	庶 務 担 当	3					1	2		
	人 事 教 養 担 当	3					1	2		
	消 防 団 担 当	5					1	3	1	
	施 設 装 備 担 当	3					1	2		
	通 課 長	1			1					
	信 専 任 課 長	2				2				
	指 課 長 補 佐	1					1			
	第 1 課	7					2	4	1	
	第 2 課	7					2	5		
	予 課 長	1			1					
	専 任 課 長	1				1				
	予 防 担 当	3					1	2		
	指 導 担 当	3					1	2		
	危 険 物 担 当	3					1	2		
	課 査 察 担 当	3					1	1	1	
一 宮 消 防 署	署 長	1		1						
	管 理 課 長	1			1					
	担 当 司 令	1				1				
	担 当	7					2	3	2	
	消 防 1 課 長	2			2					
	消 防 2 課 長	2			2					
	救 助 担 当 司 令	2				2				
	指 揮 係	8					2	6		
	警 防 1 係	16					2	7	1	6
	警 防 2 係 (特 別 消 防 隊)	12					2	10		
	救 助 係 (特 別 救 助 隊)	12					2	8	2	
	救 急 係	12					2	5	3	2
	浅 井 ・ 西 成 担 当 司 令	2				2				
	浅 井 ・ 西 成 消 防 出 張 所 警 防 係	8					2	5		1
	浅 井 ・ 西 成 消 防 出 張 所 救 急 係	10					2	6	2	
	千 担 当 司 令	2				2				
	千 秋 消 防 出 張 所 警 防 係	8					2	4		2
	千 秋 消 防 出 張 所 救 急 係	10					2	5	3	

令和2年4月1日現在(単位 人)

区 分			合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
一宮消防署	分署第1(第2)課	分署長	1			1					
		担当司令	2				2				
		警防係	14					2	8		4
		救急係	12					2	8		2
		担当司令	2				2				
		大和消防出張所 警防係	8					2	3	1	2
		大和消防出張所 救急係	10					2	6	1	1
		担当司令	2				2				
		丹陽消防出張所 警防係	8					2	5		1
		丹陽消防出張所 救急係	10					2	6	2	
尾西消防署第1(第2)課	萩原今伊勢・奥	署長	1			1					
		管理グループ	3					2		1	
		消防1課長	2			2					
		消防2課長	2			2					
		指揮係	8					2	6		
		警防1係	13					2	4		7
		警防2係(特別消防隊)	12					2	7	1	2
		救急係	10					2	5	3	
		担当司令	2				2				
		萩原消防出張所 警防係	8					2	3	1	2
		萩原消防出張所 救急係	10					2	5	2	1
		担当司令	2				2				
		今伊勢・奥消防出張所 警防係	8					2	5		1
		今伊勢・奥消防出張所 救急係	10					2	5	1	2
木曾川消防署第1(第2)課	葉栗北方	署長	1			1					
		管理グループ	3					2	1		
		担当司令	2				2				
		警防係	12					2	4		6
		救助係	12					2	10		
		救急係	10					2	7		1
		担当司令	2				2				
		葉栗消防出張所 警防係	8					2	5		1
		葉栗消防出張所 救急係	10					2	6	1	1
		担当司令	1				1				
		北方消防出張所 警防係	9					2	3	1	3

※再任用短時間勤務職員(消防士長)7名を除く

消防職員の年齢

令和2年4月1日現在(単位 人)

区 分	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	400	1	2	15	26	78	199	31	48
18歳 ・ 19歳	8								8
20歳以上24歳以下	24								24
25歳以上29歳以下	30							15	15
30歳以上34歳以下	55						38	16	1
35歳以上39歳以下	75						75		
40歳以上44歳以下	91					16	75		
45歳以上49歳以下	59			1	4	43	11		
50歳以上54歳以下	22			2	10	10			
55歳以上60歳以下	36	1	2	12	12	9			
平均年齢	41.0	58.0	58.0	56.5	53.8	47.7	38.5	29.5	24.8

※再任用短時間勤務職員(消防士長)7名を除く

消防職員の勤続年数

令和2年4月1日現在(単位 人)

区 分	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	400	1	2	15	26	78	199	31	48
1年未満から5年	52							8	44
6年から10年	52						27	21	4
11年から15年	55						53	2	
16年から20年	76					4	72		
21年から25年	59			1	2	22	34		
26年から30年	47			1	3	30	13		
31年から35年	24	1		2	9	12			
36年以上	35		2	11	12	10			
平均年数	19.9	35.0	39.5	37.0	34.4	27.7	16.6	7.2	4.2

※再任用短時間勤務職員(消防士長)7名を除く

消防職員資格等保有状況

令和2年4月1日現在(単位 人)

区 分			合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
救 急 救 命 士			90		1		8	26	43	6	6
	薬 剤 投 与 救 急 救 命 士		72		1		7	18	39	6	1
	気 管 挿 管 救 急 救 命 士		18				4	2	12		
救 急Ⅱ 課 程・救 急 標 準 課 程 修 了 者			282	1	1	15	18	52	156	25	14
大 型 一 種 自 動 車 免 許			329		1	9	24	70	195	22	8
中 型 一 種 自 動 車 免 許			33						9	9	15
自 動 車 士 免 許	ディーゼル	2 級	2					1		1	
		3 級	2						2		
	ガソリン	2 級	4					2	1	1	
		3 級	4					1	3		
	シ ャ シ	3 級	5					3	2		
危 険 物 取 扱 免 状	甲 種		5	1				1	3		
	乙 種	第 4 類	61			1	3	14	35	7	1
		第 6 類	16					5	10	1	
	丙 種		18				1	9	8		
陸上特殊無線技士		第 2 級	246			1	8	17	154	31	35
		第 3 級	98			5	8	40	45		
消 防 設 備 士 免 状		甲 種	3		1			1	1		
		乙 種	7			1		2	2	2	
1・2 級 小 型 船 舶 操 縦 士 免 許			108	1		2	6	30	63	3	3
ガ ス 溶 接 技 能 講 習			28		1	3	6	9	9		
有 機 溶 剤 作 業 主 任 者 技 能 講 習			17					6	10	1	
高 圧 ガ ス 製 造 保 安 責 任 者 免 状			8			3	3	2			
第 一 種 衛 生 管 理 者 免 許			17			2	2	8	5		
ボ イ ラ ー 取 扱 技 能 講 習			6	1		1	2	1	1		
足 場 の 組 立 て 等 作 業 主 任 者 技 能 講 習			51			2	6	25	18		
小 型 移 動 式 ク レ ー ン 運 転 技 能 講 習			164		1	10	19	39	90	1	4
玉 掛 け 技 能 講 習			281		1	7	7	30	172	30	34
酸 素 欠 乏・硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者 技 能 講 習			44		1	7	12	18	5	1	
潜 水 士 免 許			94			3	5	20	57	5	4
予 防 技 術 資 格 者 (防 火 査 察 専 門 員)			17	1		2	3	4	7		
予 防 技 術 資 格 者 (消 防 設 備 等 専 門 員)			15			2	2	4	7		
予 防 技 術 資 格 者 (危 険 物 専 門 員)			12	1		1	2	6	2		
接 遇 研 修 指 導 者			6			2		3	1		
J K E T 研 修 指 導 者			4		1	1	2				

消防職員教育研修状況

令和元年度中

科 目	回数	受講者	日数	科 目	回数	受講者	日数
○派遣教育				救急救命士関係			
消防大学校				包括運用教育	1	3	1
幹部科(第60期)	1	1	50	気管挿管運用試験	1	1	1
救助科(第79期)	1	1	57	薬剤投与プロトコール運用試験	1	3	1
火災調査科(第37期)	1	1	50	薬剤投与指導者試験	1	2	1
査察業務マネジメントコース	1	1	5	処置範囲拡大運用試験	1	2	1
県消防学校				○その他の教養			
初任科(第108期)	1	6	172	全国消防長会東海支部消防長研修会	1	1	1
初任科(第109期)	1	6	164	愛知県消防学校受託研修	1	2	14
警防科(第68期)	1	3	16	安全運転管理者講習会	1	4	1
予防査察科(第56期)	1	3	12	副安全運転管理者講習会	1	1	1
救急科(第122期)	1	3	52	整備主任者技術研修会	1	1	1
救急科(第124期)	1	3	46	整備主任者・自動車検査員研修	1	1	1
救助科(第47期)	1	2	30	調査技術会議	1	4	1
上級幹部科(第68期)	1	3	3	消防職員安全衛生研修会(東海支部)	1	3	1
はしご自動車等運用科(第30期)	1	1	3	火災原因調査研究発表会	1	4	1
火災調査科(第57期)	1	1	12	全国消防長会違反是正事例発表会	1	3	1
水難救助科(第46期)	1	1	12	東海地区消防機関事故原因究明技術研修会	1	1	1
地震防災科(第14期)	1	2	2	危険物特別講演会	1	2	1
指揮隊科(第8期)	1	2	7	火災科学セミナー	1	2	1
救急救命士養成				検証担当官等講習会	1	2	1
名古屋市救急救命研修所	1	1	202	心電図セミナー(前期・後期)	1	4	1
大阪市消防局高度専門教育訓練センター	1	1	190	コ・メディカルセミナー	1	4	1
救急救命九州研修所(指導救命士養成)	1	1	42	日本救急医学会中部地方会	1	2	1
○資格取得・技能講習				全国救急隊員シンポジウム	1	1	2
足場の組立て等作業主任者技能講習	1	5	2	日本臨床救急医学会	1	1	2
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	1	2	3	日本災害医学会学術集会	1	1	3
有機溶剤作業主任者技能講習	1	1	2	愛知県下高速道路消防連絡協議会講演会	1	4	1
小型移動式クレーン運転技能講習	1	6	3	外傷・災害対応講習(Aコース)	1	4	1
2級小型船舶操縦士試験	1	3	1	外傷・災害対応講習(Bコース)	1	1	1
潜水士免許試験	1	2	1	災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会	1	4	1
特別教育(クレーン5t未満)	1	2	2	○本部教養・所属教養			
予防技術検定	1	2	1	職制教養	1	118	1
				集合研修	3	450	1

災害防止

昭和60年10月一宮市消防職員安全管理規程を制定し、職員の安全管理と環境整備の促進を図るとともに、事故防止の徹底を図っています。さらに平成29年9月には労働安全衛生法の規定に基づき、一宮市職員安全衛生管理規程が定められ、消防本部の安全衛生管理体制も強化され、災害の防止に取り組んでいます。

〈安全衛生管理体制〉

令和2年4月1日現在

区 分	総 括 安全衛生 管 理 者	副安全衛 生管理者	衛 生 者 管 理 者	委 員	産 業 医	安全衛生 推 進 者
人 員	1	1	2	5	2	12

安全管理

最近の公務災害は、3年間で8件発生しています。

〈過去3年間の災害種別公務災害発生状況〉

(単位 件)

区 分	合 計	消防訓練中	消火活動中	救急活動中	救助活動中	その他
合 計	8	2	2	2	1	1
平成29年中	4	1	1	2		
平成30年中	1		1			
令和元年中	3	1			1	1

消防協力者表彰

火災その他の災害現場において早期発見、消火・救助等の協力及び消防施設の強化充実、保全等消防に対して著しく功労があった方に市長感謝状として贈るものです。

令和元年中

表彰種別	合 計	火 災	救 助	救 急	その他
表彰件数	9	3	3	3	
表彰人員	21	8	6	7	

施設・装備充実事業

《尾西はしご車 更新》

はしご付消防自動車

- 最新の安全装置を搭載し、トラックシャシに先端屈折はしごを装備した、はしご付消防自動車



《萩原2号車 更新》

消防ポンプ自動車

- CD- I 型の消防車両で救急隊が乗り換え運用し、主に補水活動を実施



《本署救急1号車 更新》

高規格救急自動車

- 高度救命処置用資機材及び応急処置資機材を積載



《千秋南分団車 更新》

小型動力ポンプ付積載車

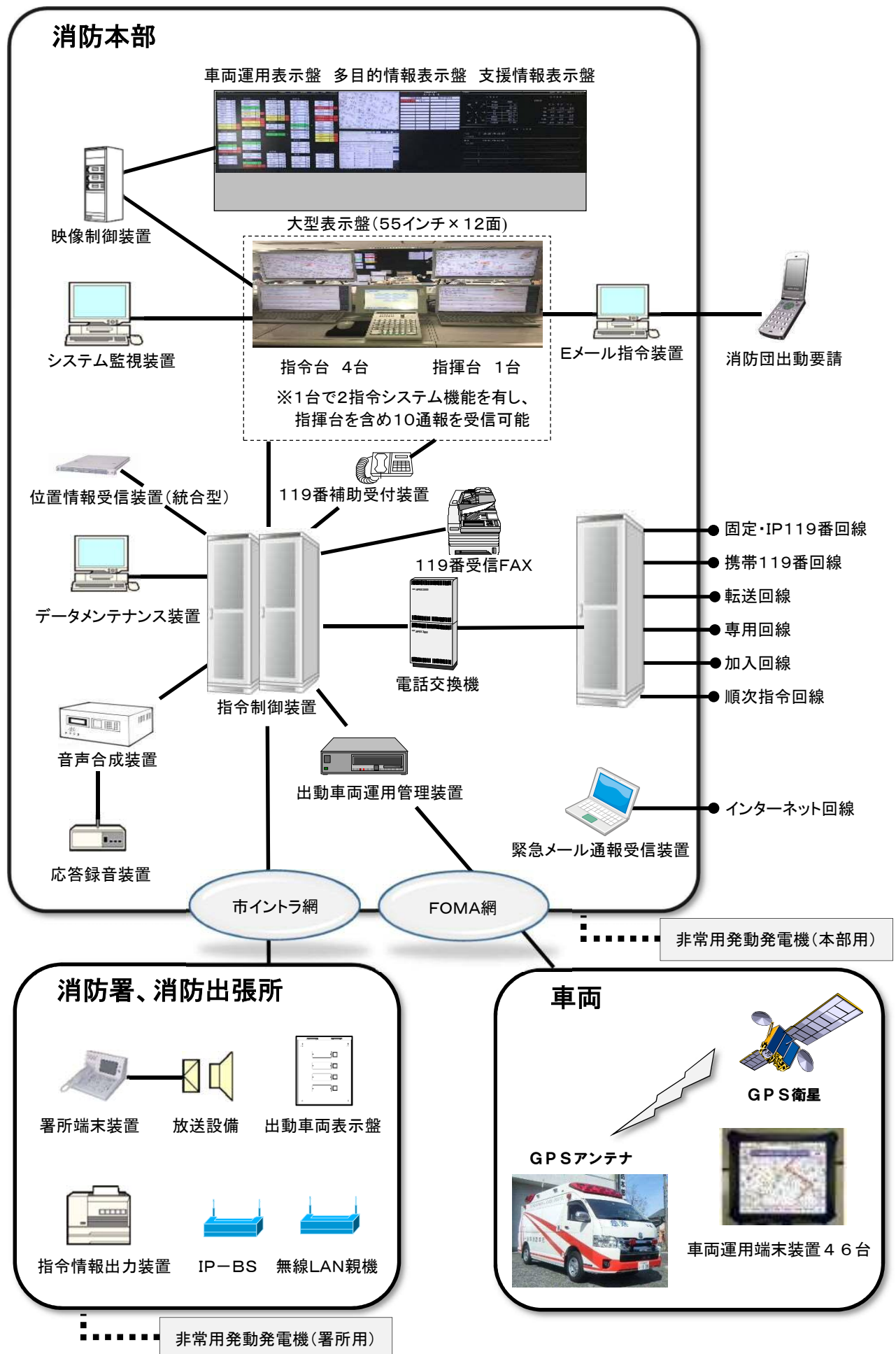
- 救助資機材を積載



通信・気象



指令システム構成図



無線設備

消防救急無線(260MHz 帯)

令和2年4月1日現在

種別		出力	実装チャンネル数	局数	
基地局		10W	統制波 3 主運用波 1 活動波 6	1	
移動局	車載型	10W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	61	141
	携帯型	5W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	75	
	可搬型	10W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	4	
	卓上型	10W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	1	

署活動系無線(400MHz 帯)

種別	出力	実装チャンネル数	局数
携帯型	1W	署活動波 2 防災相互波 1	30

特定小電力トランシーバー

種別	出力	実装チャンネル数	局数
携帯型	0.01W	47	170

指令回線等一覧表

指令システム

令和2年4月1日現在

項目	名 称	回線数	内 訳
1	119番回線(固定電話用)	6	・12ch
2	119番回線(携帯電話用)	4	・8ch
3	指令回線	12	・署所端末装置指令回線:12 (一宮消防署本署 尾西消防署 浅井・西成消防出張所 萩原消防出張所 千秋消防出張所 今伊勢・奥消防出張所 一宮消防署分署 木曽川消防署 大和消防出張所 葉栗消防出張所 丹陽消防出張所 北方消防出張所)
4	内線回線	6	・PBX内線収容
5	専用回線	4	・中部電力 ・東邦ガス ・中日本高速道路 ・名古屋高速道路
6	転送回線(ISDN)	2	・4ch
7	加入電話(ISDN)	2	・4ch
8	庁内放送回線	1	・庁内放送用
9	音声合成回線	18	・指令用、無線用(兼用):9 ・順次指令用:8 ・災害テレホンサービス用:1

電話回線

項目	名 称	回線数	内 訳
1	加入回線(ISDN)	1	・2ch(障害時用)
2	加入回線(アナログ)	4	・FAX用:2 ・FAX兼119番迂回用:1 ・119番迂回用:1
3	携帯電話	41	・救急隊:14、指揮隊:2、警防隊:18、救助隊:2 通信指令課:5
4	加入回線(NTTひかり)	1	・27ch、33番号

月別119番受信状況

令和元年中(単位 件)

種 別 \ 月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	23,574	2,311	1,814	1,779	1,937	1,906	1,949	1,922	2,201	1,906	1,873	1,911	2,065
火 災	144	14	8	13	8	19	2	3	20	15	22	11	9
救 急	17,276	1,810	1,280	1,295	1,362	1,399	1,391	1,465	1,595	1,396	1,312	1,417	1,554
救 助	150	11	8	16	13	6	14	12	16	14	18	9	13
そ の 他 の 害	76	7	7	4	5	8	3	9	7	8	7	7	4
いた ず ら	18		2	1	3	2	1	3	1	1		4	
間 違 い	1,679	141	127	139	115	150	124	137	169	141	156	149	131
問 合 せ	1,082	93	72	64	90	111	92	94	96	103	84	86	97
病 問 合 院 せ	409	63	24	28	30	24	24	30	60	36	27	22	41
訓 練	460	17	29	60	59	34	39	18	18	39	41	68	38
試 験	1,871	128	238	135	226	126	224	100	173	116	167	99	139
そ の 他	20	3	3	6		4		4					
転 送	389	24	16	18	26	23	35	47	46	37	39	39	39

携帯電話からの月別119番受信状況

令和元年中(単位 件)

種 別 \ 月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	10,982	1,014	798	782	901	900	872	939	1,150	930	837	878	981
火 災	99	10	7	8	6	15	2	3	15	8	12	7	6
救 急	8,137	775	563	591	689	672	651	705	828	679	606	641	737
救 助	114	9	6	11	9	6	9	11	13	12	13	6	9
そ の 他 の 災 害	65	4	6	4	5	7	3	8	5	5	7	7	4
いた ず ら	7		1		1	1		2		1		1	
間 違 い	1,109	95	75	82	66	97	73	95	132	100	90	102	102
問 合 せ	632	47	46	34	55	53	49	53	58	63	57	54	63
病 問 合 院 せ	260	37	15	15	19	17	15	13	42	21	19	16	31
訓 練	64		3	10	16	5	5	2	3	6	1	11	2
試 験	176	16	62	8	10	2	35	6	22	3	3	4	5
そ の 他	13	2	2	3		3		3					
転 送	306	19	12	16	25	22	30	38	32	32	29	29	22

月別気象状況

令和元年中

区 分	気温(℃)			風速(m/s)		相対湿度(%)		実効湿度(%)		降水量 (mm)
	最低	最高	平均	最大瞬間	平均	最小	平均	最小	平均	
1月	-3.9	12.0	4.3	14.7	1.8	33.0	78.9	72.0	79.3	16.0
2月	-2.2	17.4	6.5	16.3	1.8	23.0	71.1	45.7	71.5	53.5
3月	-0.3	21.2	9.5	19.5	1.7	11.6	60.9	48.1	60.4	70.0
4月	0.9	27.3	13.6	18.5	2.0	9.9	62.3	46.7	61.0	133.0
5月	7.6	34.8	20.5	15.8	1.8	10.8	56.6	44.0	57.5	124.5
6月	16.4	32.9	23.3	17.8	1.6	29.1	71.6	59.8	69.5	162.0
7月	19.6	37.8	26.1	18.0	1.2	41.9	80.5	72.7	81.1	382.0
8月	20.6	38.5	29.0	21.2	1.4	36.9	74.8	66.0	73.7	216.5
9月	16.0	37.3	26.1	14.0	1.3	23.3	71.9	64.7	72.8	60.5
10月	11.2	32.5	19.7	15.2	1.4	21.1	76.6	68.5	75.9	374.0
11月	2.1	23.4	12.8	17.1	1.4	23.0	65.7	57.6	66.9	12.5
12月	-0.5	16.8	8.2	15.7	1.2	30.8	70.0	60.5	68.9	73.0
年 間	-3.9	38.5	16.6	21.2	1.6	9.9	70.1	44.0	69.9	1,677.5

(観測地:大和消防出張所)

一宮市の警報・注意報発表基準

発表官署 名古屋地方気象台 令和元年5月29日現在

警報の種類		基 準	
大雨	(浸水害)	表面雨量指数基準	23
	(土砂災害)	土壌雨量指数基準	—
洪水	流域雨量指数基準	五条川流域＝20.3、青木川流域＝10.9、大江用水流域＝11.4 光堂川流域＝4.1、野府川流域＝4.6	
		五条川流域＝(18,18.1)、青木川流域＝(14,7.3)、大江用水流域＝(10,10.2) 光堂川流域＝(10,3.5)、野府川流域＝(10,4.1)、日光川流域＝(10,14.2)	
	複合基準※		
		指定河川洪水予報による基準 木曽川中流〔犬山・笠松〕、愛知県日光川水系 日光川〔戸茱・古瀬〕	
暴風	平均風速	20m/s	
暴風雪	平均風速	20m/s 雪を伴う	
大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ10cm	

注意報の種類		基 準
大雨	表面雨量指数基準	13
	土壌雨量指数基準	127
洪水	流域雨量指数基準	五条川流域＝12.8、青木川流域＝5.7、大江用水流域＝9.1 光堂川流域＝3.2、野府川流域＝3.6
	複合基準※	五条川流域＝(10,12.8)、青木川流域＝(11,5.4)、大江用水流域＝(8,5.5) 光堂川流域＝(6,2)、野府川流域＝(6,3)、木曽川流域＝(6,86)、日光川流域＝(10,8)
		指定河川洪水予報による基準
	強風	平均風速
風雪	平均風速	13m/s 雪を伴う
大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ5cm
雷	落雷等により被害が予想される場合	
濃霧	視程	100m
乾燥	最小湿度30％で、実効湿度60％	
低温	冬期:最低気温-4℃以下	
霜	晩霜期に最低気温3℃以下	
着氷・着雪	著しい着氷(着雪)が予想される場合	
記録的短時間大雨情報	1時間雨量	100mm

※(表面雨量指数,流域雨量指数)の組み合わせによる基準値を表しています。

消防団



消防団の現況

消防団は郷土愛護の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震・風水害・火災等の災害時には、市民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平常時には、火災予防広報、防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割を果たしています。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を機に、大規模災害発生時の消防力の強化が極めて重要な課題となっております。本市においても、平成24年4月1日から大規模災害及び昼間帯の建物火災のみに出動する支援団員制度を導入しました。

令和元年度中における主な活動は、火災出動延べ123回、866人、訓練出動延べ2,198回、16,871人でその他、出初式、観閲式、警戒警備等に出動し活躍しています。

このように地域防災の中核として広域な活動を任務とする消防団員に対して本市では、災害補償制度、退職報償金制度等の充実を図り、また、教育訓練の充実、若手リーダーの育成等に努めています。

消防団及び消防団員の状況

令和2年4月1日現在

団 数	分 団 数	定 数	消 防 団 員 現 員 数							
			合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団（支 援 団 員）
1	25	605(100)	527(61)	1	4	25	25	25	25	422 (61)

※（ ）内は支援団員数で内数で記載

消防団の活動状況

令和元年度中

区 分	合 計	火 災	訓 練	式 典	警 戒 警 備	水 難 搜 索	風 水 害	点 検
延 出 動 回 数	2,706	123	2,198	52	119			214
延 出 動 人 員	20,188	866	16,871	689	1,342			420

年報酬額

令和2年4月1日現在

階 級	基 本 団 員							支援団員
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	団員
金 額 (円)	125,000	104,500	72,500	54,000	42,000	40,500	39,000	10,000

費用弁償

令和2年4月1日現在

出動区分	災害出動	訓 練 等 出 動	観閲出動	出 初 め 出 動	警戒出動	年 末 警戒出動	機械点検 出 動
金 額 (円)	2,800 以内	1,700 以内	2,600 以内	2,600 以内	2,200 以内	2,600 以内	2,000 以内

消防団員の退職状況

令和元年度中(単位 人)

在職 年数	5年 未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年 以上
42	17	8	2	3	6	2	4

消防団員の新任状況

令和元年度中(単位 人)

新任 団員数	21歳 未満	21歳以上 25歳以下	26歳以上 30歳以下	31歳以上 35歳以下	36歳以上 40歳以下	41歳以上 45歳以下	46歳以上 50歳以下	51歳 以上
40	12	3	3	4	5	5	3	5

消防団員の職業構成と就業形態

令和2年4月1日現在(単位 人)

職 業 構 成	公 務 員 等	国　　家　　公　　務　　員	
		地　　方　　公　　務　　員	9
		特殊法人等公務員に準ずる職員	22
	そ　　　　　　　　　　の　　　　　　　　　　他		496
合　　　　　　　　　　計			527
就 業 形 態	被　　　　　　雇　　　　　　用　　　　　　者		312
	自　　　　　　営　　　　　　業　　　　　　者		121
	家　　　　族　　　　従　　　　事　　　　者		15
	そ　　　　　　　　　　の　　　　　　　　　　他		79

消防団員の年齢

令和2年4月1日現在(単位 人)

区 分	合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 (支 援 団 員 含 む 員)
合 計	527	1	4	25	25	25	25	422
20歳未満	4							4
20歳以上 24歳以下	24							24
25歳以上 29歳以下	11				1			10
30歳以上 34歳以下	20				1	1		18
35歳以上 39歳以下	42					3	6	33
40歳以上 44歳以下	77				1	3	6	67
45歳以上 49歳以下	106			5	7	7	6	81
50歳以上 54歳以下	83		1	4	3	6	4	65
55歳以上 59歳以下	66		2	9	6	4	2	43
60歳以上 64歳以下	47	1		3	3		1	39
65歳以上	47		1	4	3	1		38
平均年齢	48.6	62.0	59.8	56.8	53.3	47.8	45.5	48.0

消防団員の勤続年数

令和2年4月1日現在(単位 人)

区 分	合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 (支 援 団 員 含 む) 員
合 計	527	1	4	25	25	25	25	422
5年未満	126				3	2	3	118
5年以上10年未満	92			1	2	5	8	76
10年以上15年未満	93			4	4	6	8	71
15年以上20年未満	61		1	2	4	5	3	46
20年以上25年未満	67		2	8	9	5	2	41
25年以上30年未満	41			6	1	2	1	31
30年以上35年未満	22			2	2			18
35年以上40年未満	16	1	1	2				12
40年以上45年未満	5							5
45年以上	4							4
平均年数	13.7	36.0	23.8	22.2	16.8	13.9	11.1	13.0

予 防



火災予防普及活動状況

火災発生防止と火災発生時の早期通報、初期消火、避難誘導等一連の初期消火活動が行われるためには、市民一人ひとりの火災予防に対する理解と認識が必要です。そこで市民の火災予防に対する認識を深めるために、春秋の火災予防運動を中心に市広報誌等に火災予防記事の掲載、また、事業所等の消防訓練時に防火管理体制の確立等幅広い広報活動を展開しています。

(上段:実施回数)
令和元年度中(下段:参加人員)

区 分	市 広 報 掲 載	消 防 訓 練	研 修 演 講	会 場	甲 種 防 火 管 理 新 規 講 習
合 計	23	938 58,231	10 378	6 256	
4 月	2	52 2,336	1 80		
5 月	1	98 3,892	2 65	新規講習	2 123
6 月	2	77 3,739		新規講習	1 45
7 月	3	43 1,252			
8 月	2	48 4,260	1 39		
9 月	1	107 10,047	2 61		
10 月	2	118 7,433			
11 月	3	133 8,817	1 20	新規講習	2 70
12 月	2	81 3,951			
1 月	2	35 5,429	1 10		
2 月	1	55 2,619	2 103	再講習	1 18
3 月	2	91 4,456			

幼年・少年・婦人消防クラブの現況

令和2年4月1日現在

幼 年 消 防 ク ラ ブ		少 年 消 防 ク ラ ブ		婦 人 消 防 ク ラ ブ	
ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数
89	9,610	42	7,288	10	395

街頭消火器設置状況

令和2年4月1日現在(単位 本)

連 区	設 置 本 数	連 区	設 置 本 数
宮 西	327	今 伊 勢 町	607
貴 船	300	奥 町	358
神 山	418	萩 原 町	495
大 志	253	千 秋 町	458
向 山	272	起	111
富 士	317	小 信 中 島	244
葉 栗	426	三 条	298
西 成	822	大 徳	270
丹 陽 町	610	朝 日	382
浅 井 町	512	開 明	230
北 方 町	254	木 曽 川 町	887
大 和 町	954	合 計	9,805



1.安全栓を抜く



2.ホースを火元に向ける
(ホースの先端を持つ)

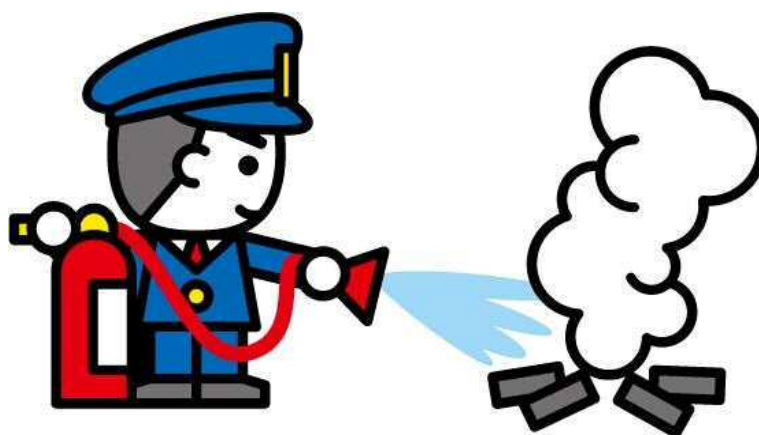


3.レバーを強く握り
放射します

街頭消火器火災使用状況

令和元年度中

区 分	合 計		建物火災		車両火災		その他の火災	
	件数	本数	件数	本数	件数	本数	件数	本数
合 計	3	3	0	0	0	0	3	3
4 月								
5 月								
6 月								
7 月								
8 月	1	1					1	1
9 月								
10 月								
11 月	1	1					1	1
12 月	1	1					1	1
1 月								
2 月								
3 月								



査察対象物数

令和2年4月1日現在

防火対象物			査察種別	1 種	2 種	3 種	合 計	特 定 防 火 対 象 物	非特定防火対象物
合 計				1,315	1,791	1,629	4,735	2,085	2,650
1	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場 等		5			5	5	
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場		89		80	169	169	
2	イ	キャバレー・カフェ等		2		4	6	6	
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ンス ホール		20			20	20	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等		1		8	9	9	
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等		12			12	12	
3	イ	待 合 ・ 料 理 店		4			4	4	
	ロ	飲 食 店		65		243	308	308	
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト		229		210	439	439	
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル		25			25	25	
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅			808	362	1,170		1,170
6	イ	病 院 ・ 診 療 所		96		66	162	162	
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等		144			144	144	
	ハ	老人デイサービスセンター・保育所等		157		84	241	241	
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校 等		25		1	26	26	
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 校 等		15	64	9	88		88
8		図 書 館 等			6		6		6
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場							
	ロ	公 衆 浴 場			4	2	6		6
10		車両停車場・船舶・航空機発着場							
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会			10	44	54		54
12	イ	工 場 ・ 作 業 場		37	417	55	509		509
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場		5	9		14		14
14		倉 庫		38	230	18	286		286
15		官 公 署 ・ 事 務 所 等		12	169	170	351		351
16	イ	特定複合用途防火対象物		331		184	515	515	
	ロ	特定以外の複合用途防火対象物		3	71	89	163		163
17		文 化 財 建 造 物			3		3		3
18		ア ー ケ ー ド							

備考

- 1種:定期点検報告を必要とする、又は消火設備(消火器を除く)の設置を必要とする、又は自動火災報知設備の設置を必要とする特定防火対象物並びに5項ロを除く延べ面積5,000平方メートル以上の非特定防火対象物
- 2種:消火設備(消火器を除く)の設置を必要とする、又は自動火災報知設備の設置を必要とする非特定防火対象物(第1種を除く)
- 3種:消防法第8条第1項に定める防火管理者を必要とする防火対象物(上記防火対象物を除く)

中高層建築物数

令和2年4月1日現在

区 分	合 計	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階	18 階	20 階	21 階
合 計	3,637	2,018	769	323	145	91	107	41	57	32	16	17	9	9	1	1	1
宮 西	265	123	55	25	14	14	12	5	4	5	1		4	3			
貴 船	189	101	37	14	9	6	8	2	7	3	1	1					
神 山	429	188	102	21	30	17	23	17	15	4		7	2	3			
大 志	293	154	63	37	13	2	7	1	4		3	3	1	2	1	1	1
向 山	119	66	30	6	4	3	6	1	2	1							
富 士	130	73	24	16	5	4	3		3	1		1					
葉 栗	61	31	20	7		3											
西 成	209	129	44	20	4	3	5	2	2								
丹 陽 町	366	224	86	25	15	2	4	4	2	3	1						
浅 井 町	71	39	13	8	2	2	2	4		1							
北 方 町	31	16	6	3		2	3	1									
大 和 町	407	215	84	45	22	20	12	1	5	2	1						
今伊勢町	182	115	26	11	8	4	3	2	3	4	4	1	1				
奥 町	88	61	13	5	2	1	3		2	1							
萩 原 町	80	46	15	7	2	3	4		1	2							
千 秋 町	78	49	22	7													
起	23	17	2	1		1	1						1				
小信中島	81	50	9	11	2	2	1		4	1	1						
三 条	125	74	20	17	5	1	3				2	3					
大 徳	66	28	21	10	3		1	1		1	1						
朝 日	44	21	17	5	1												
開 明	68	51	11	3	1				1	1							
木曽川町	232	147	49	19	3	1	6		2	2	1	1		1			

各種届出件数

令和元年度中

区 分	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消 防 計 画 作 成 (変 更) 届	593	74	49	41	179	24	29	38	33	43	26	28	29
防 火 ・ 防 災 管 理 者 選 任 (解 任) 届	609	89	49	69	127	26	33	44	35	43	30	29	35
全体についての消防計画作成(変更)届													
統括防火・防災管理者選任(解任)届													
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	129	8	11	4	13	15	12	17	16	11	6	6	10
防 災 管 理 点 検 結 果 報 告 書	8	3	2			1		1	1				
管 理 権 原 者 変 更 届	4			2									2
自 衛 消 防 組 織 設 置 (変 更) 届	1								1				
ボ イ ラ ー 等 設 置 届	20	4	1		2	2	1	2	3	1		3	1
変 電 設 備 設 置 届	39	1	5	5	3	2	2	2	2	3	6	3	5
燃 料 電 池 発 電 設 備 設 置 届													
発 電 設 備 設 置 届	12	1	1	6					2			1	1
蓄 電 池 設 備 設 置 届	14		2				2	1	1		1	6	1
ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届													
火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 ・ た き 火 届	194	4		4	3	4	9	23	49	77	14	4	3
煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け 届	4			1				1			2		
溶 接 ・ 溶 断 作 業 届	35	4	3	5	4	3	3	5	3	1	1	1	2
催 物 開 催 届	11	1	1	2	2	1	1	1	1			1	
水 道 断 ・ 減 水 届													
道 路 工 事 届	2,863	224	227	245	280	223	233	257	260	265	171	264	214
露 店 等 の 開 設 届	117	8	4	15	29	12	16	16	10	2	2	2	1
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱開始届	81	8	6	2	4	7	8	6	8	5	8	7	12
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	23	4	2	2	5			5			3	2	
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 廃 止 届	13	4	1	2	1			2	1		2		
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	6			1	1	2			1	1			
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 廃 止 届	1			1									
消 防 用 設 備 等 設 置 届	312	27	25	21	26	18	21	23	23	30	34	23	41
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	3,796	371	316	358	262	235	265	482	297	339	225	261	385
消 防 用 設 備 等 着 工 届	267	23	22	12	22	22	22	26	35	23	17	27	16
避 難 ・ 警 報 設 備 着 工 届	180	22	12	22	13	15	14	11	14	13	19	14	11
消 防 用 設 備 等 の 特 例 適 用 願	20	5	4	1			1	1	1	2	2	2	1
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	189	18	15	12	25	12	11	14	8	18	14	14	28
喫 煙 等 の 禁 止 解 除 申 請	100	21	14	7	15	6	5	4	6	8	4	3	7
指 定 洞 道 等 届													
消 防 訓 練 実 施 届	987	80	86	78	54	90	92	133	121	62	44	70	77
防 火 防 災 訓 練 実 施 届	213	68	34	17	16	12	10	22	8	8	7	11	

用途別同意建築物数

令和元年度中

防 火 対 象 物			合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合 計			459	25	41	61	39	40	38	35	35	38	33	28	46
1	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場 等													
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	6	1	1	1						1		1	1
2	イ	キャバレー・カフェー等													
	ロ	遊 技 場 ・ ダンスホール	1										1		
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等													
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等													
3	イ	待 合 ・ 料 理 店													
	ロ	飲 食 店	10	1	1	1	2	1	2	1	1				
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	21	2	1	1	3	1	2	1	3	1	3	1	2
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル													
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 等	31	1	5	2	1	2	3	1	3	3	3	3	4
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	13	2	1			3	1	1		2	2		1
	ロ	特 定 社 会 福 祉 施 設 等	20		2		3	2	1	2	3		2	1	4
	ハ	社 会 福 祉 施 設 ・ 保 育 園 等	10			2	1			1	1	1		1	3
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校													
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 校 等													
8		図 書 館 等													
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場													
	ロ	公 衆 浴 場													
10		車 両 の 停 車 場 等													
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	11	2	1	3						3	1		1
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	24		3	3	5	2	1	4	2	1	1	2	
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	15	1	2		1	3	2	2		1	2		1
14		倉 庫	23	2	2		2	1	2	2	6	3	1	1	1
15		官 公 署 ・ 事 務 所 等	87	2	7	39	7	3	2	2	5	5	5	5	5
16	イ	特定複合用途防火対象物	8	2	1				3	1				1	
	ロ	特定以外の複合用途 防 火 対 象 物	5			1		1	1					2	
専 用 住 宅			174	9	14	8	14	21	18	17	11	17	12	10	23

危険物施設数

令和2年4月1日現在

区 分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	セ ル フ 給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	販 売 取 扱 所
合 計	422	3	267	56	43	30	87		47	4	152	111	36	40	1
宮 西	10		5	2		1	2				5	2		2	1
貴 船	9		4		2		2				5	4	3	1	
神 山	20		17	1	4	1	2		9		3	1		2	
大 志	3		2				2				1			1	
向 山	14		10	1			4		4	1	4	3	1	1	
富 士	6		2				2				4	3	1	1	
葉 栗	11		6		1		4			1	5	5	2		
西 成	44		31	2	8		6		15		13	12	3	1	
丹 陽 町	41		26	8	1	1	12		4		15	12	5	3	
浅 井 町	15		9	2	1	2	4				6	3	2	3	
北 方 町	19	3	11	1	3		6			1	5	2		3	
大 和 町	30		15	3		2	9			1	15	11	5	4	
今 伊 勢 町	11		9	3	1	2	2		1		2	1	1	1	
奥 町	15		12	2		5	5				3	2	1	1	
萩 原 町	32		15	5	3	1	2		4		17	14	1	3	
千 秋 町	14		6	1		2	3				8	8	2		
起	2		1			1					1	1			
小 信 中 島	4		3	1	1	1					1	1	1		
三 条	11		4	1	1		2				7	5	3	2	
大 徳	6		6			2	3		1						
朝 日	54		40	15	10	3	8		4		14	5		9	
開 明	18		15	5		4	5		1		3	2	1	1	
木 曾 川 町	33		18	3	7	2	2		4		15	14	4	1	

指定数量の倍数・類別危険物施設数

令和2年4月1日現在

区 分			合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
					小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	セ	一 般 取 扱 所	販 売 取 扱 所
															ル フ 給 油 取 扱 所		
許 可 施 設 数			422	3	267	56	43	30	87		47	4	152	111	35	40	1
倍 数 別	倍	5倍以下	143		124	23	8	18	40		34	1	19			18	1
		5倍を超え 10倍以下	85	1	65	17	10	12	23			3	19	7		12	
		10倍を超え 50倍以下	107	1	58	14	23		18		3		48	40		8	
		50倍を超え 100倍以下	22	1	18	2	2		4		10		3	2		1	
		100倍を超え 150倍以下	5		1				1				4	4			
		150倍を超え 200倍以下	14										14	14	1		
		200倍を超え 1,000倍以下	46		1				1				45	44	34	1	
		1,000を超え 5,000倍以下															
	5,000倍を超え 10,000倍以下																
	10,000倍を超えるもの																
類 別	単 独	第 1 類															
		第 2 類															
		第 3 類															
		第 4 類	419	3	264	53	43	30	87		47	4	152	111	35	40	1
		第 5 類	1		1	1											
		第 6 類															
	混 在		2		2	2											

危険物施設の設置・変更許可等

令和元年度中

区 分		合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
				小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所		一 般 取 扱 所	販 売 取 扱 所
													セ ル フ 給 油 取 扱 所			
許 可	設 置	7		6	2					4		1	1			
	変 更	59		12			1	3		8		47	24	15	23	
仮 使 用 承 認		48		4			1	3				44	23	15	21	
完 成 検 査	設 置	8		6	2					4		2	1		1	
	変 更	57	1	13			1	4		8		43	24	14	19	
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱 承 認		10														

タンク検査状況

令和元年度中

検 査 区 分	容 量	件 数	小 計	合 計
水 張 検 査	1万リットル以下のタンク	4	5	7
	1万リットルを超え、5万リットル以下のタンク	1		
	5万リットルを超え、10万リットル以下のタンク			
	10万リットルを超えるタンク			
水 圧 検 査	1万リットル以下のタンク	2	2	
	1万リットルを超え、5万リットル以下のタンク			
	5万リットルを超え、10万リットル以下のタンク			
	10万リットルを超えるタンク			

危険物施設届出等状況

令和元年度中

合 計	予 防 規 程 制 定 ・ 変 更 認 可 申 請	譲 渡 引 渡	品 名 ・ 数 量 ・ 倍 数 変 更 届	廃 止 届	変 更 届	事 故 発 生 届	休 止 ・ 再 開 届	許 可 書 等 再 交 付 申 請	設 置 ・ 変 更 取 り や め 届	設 置 ・ 変 更 許 可 申 請 取 下 書	保 安 監 督 者 選 任 ・ 解 任 届	資 料 提 出 書	火 気 使 用 届	軽 微 工 事 届	地 下 貯 蔵 タ ン ク 等 に 関 す る 計 画 届
211	8	3	4	13	39	10					33	58		43	

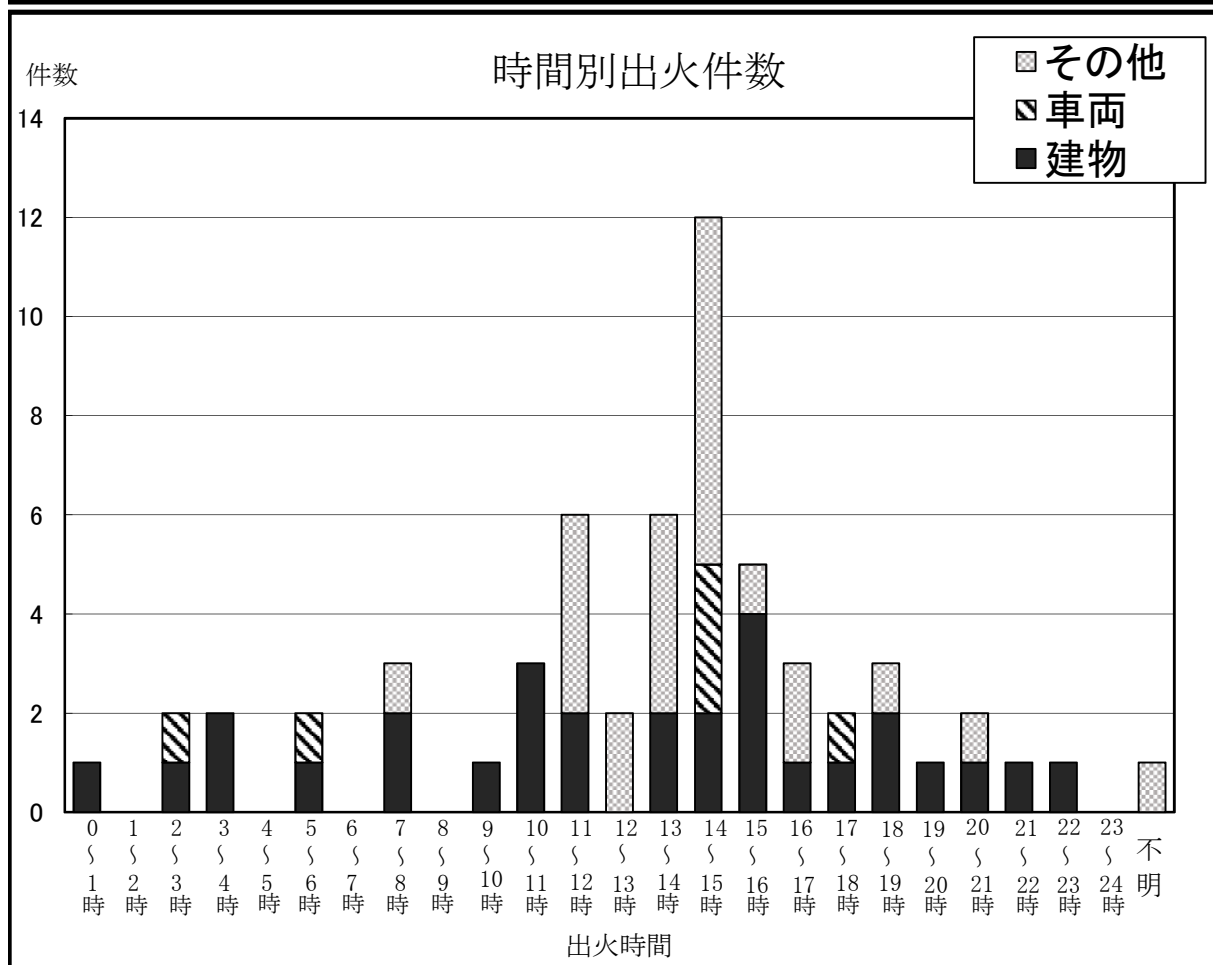
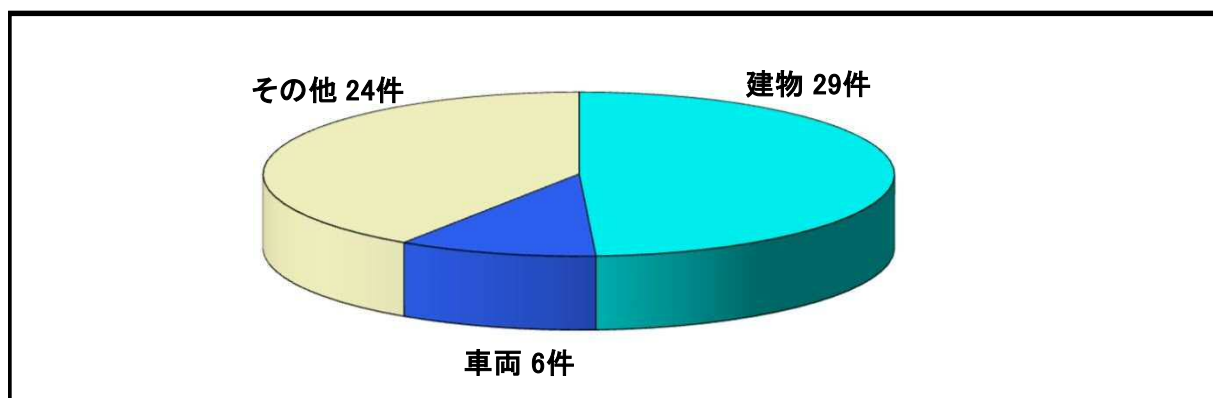
火 災



火災の概況

令和元年中

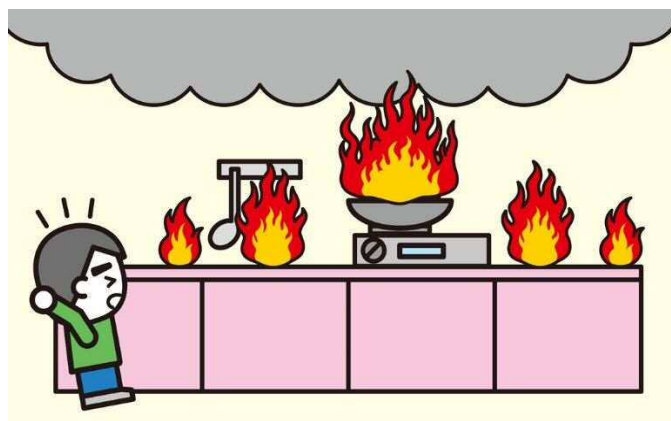
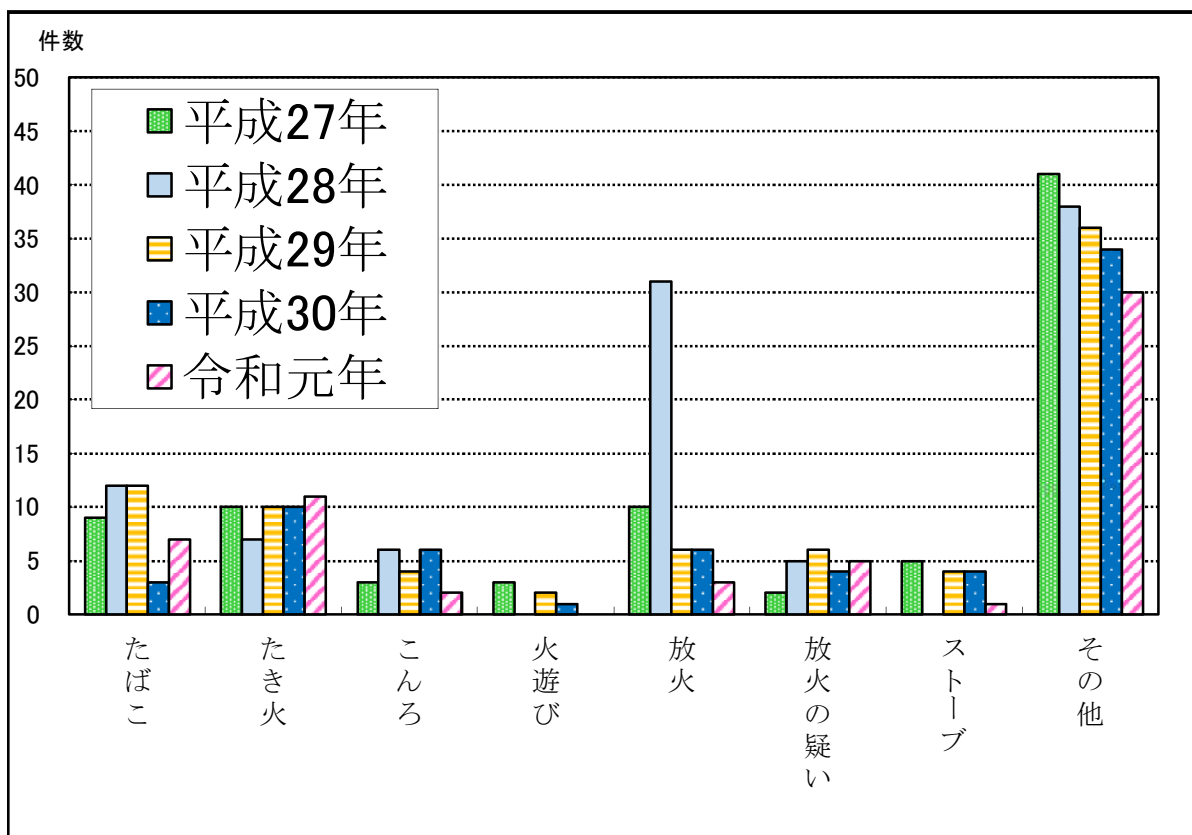
火災種別件数				焼損棟数	り災世帯数	死者	負傷者	建物焼損床面積	建物焼損表面積	その他	損害額
合計	建物	車両	その他	(棟)	(世帯)	(人)	(人)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(千円)
59	29	6	24	50	37	1	8	1,993	76	4,238	196,002



出火原因

(単位 件)

区 分	合 計	たばこ	たき火	こんろ	火遊び	放火	放火の疑い	ストーブ	その他
平成27年	83	9	10	3	3	10	2	5	41
平成28年	99	12	7	6		31	5		38
平成29年	80	12	10	4	2	6	6	4	36
平成30年	68	3	10	6	1	6	4	4	34
令和元年	59	7	11	2		3	5	1	30



建物用途別・原因別件数

令和元年中

区 分	合 計	住 宅 火 災				店 舗	工場・ 作業場	飲 食 店	そ の 他
		計	一般 住宅	共同 住宅	併用 住宅				
合 計	59	17	14	2	1	2	3		37
た ば こ	7	2	2						5
こ ん ろ	2	2	1	1					
風呂かまど	1	1			1				
ストーブ	1								1
電 気 機 器	3	2	1	1					1
電灯・電話等 の 配 線									
火あそび									
た き 火	11								11
放 火	3	1	1			1			1
放火の疑い	5	1	1			1			3
そ の 他	15	7	7				1		7
不 明	11	1	1				2		8

連区・月別の火災件数

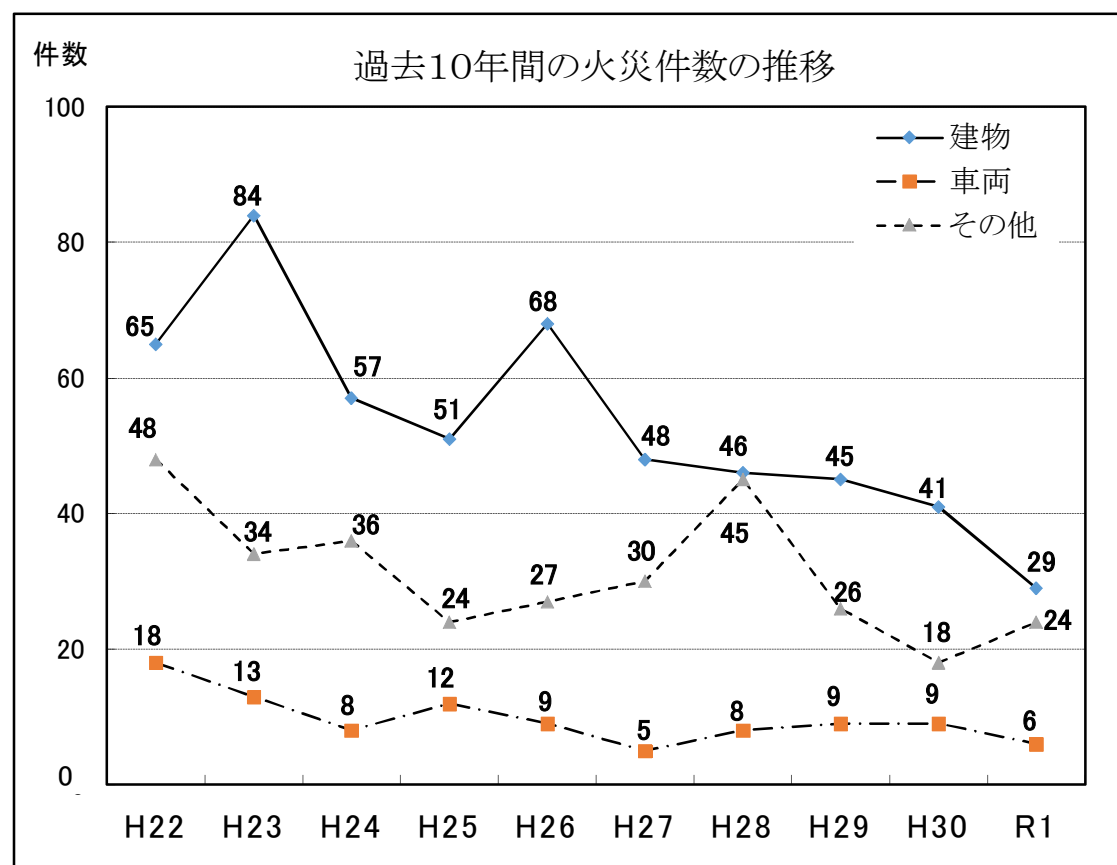
区 分	種 別 件 数					り 災 棟 数				り 災 世 帯			
	合 計	建 延 焼	物 不 延 焼	車 両	そ の 他	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 損	半 損	小 損	り 災 人 員
合 計	59	8	21	6	24	12	4	13	21	16		21	88
宮 西	3				3								
貴 船	1				1								
神 山	3	1	2			2		2	2	1		2	7
大 志	2	2				3		1		2			4
向 山													
富 士													
葉 栗	3		1		2				1			1	3
西 成	6		1	1	4				1			1	4
丹 陽 町	5	2	2		1	1	1	3	4	1		6	25
浅 井 町	4				4								
北 方 町	2		2					1	1			2	4
大 和 町	6		4	1	1			2	2			3	6
今 伊 勢 町	1			1									
奥 町	3		2		1				2				
萩 原 町	4		2		2			1	1				
千 秋 町	7	2	1	1	3	3	1	1	4	10		2	16
起													
小 信 中 島													
三 条													
大 徳													
朝 日	2		1	1		1				1			6
開 明	2		1		1				1			1	1
木 曾 川 町	5	1	2	1	1	2	2	2	2	1		3	12
1 月	6	1	2		3	1		2	4	1		5	20
2 月	6	1	5			1	1	3	2			2	5
3 月	8	1	4	1	2	2	2	2	4	1		6	23
4 月	2		1	1				1				1	2
5 月	6	1	1	1	3	2			3	1		1	5
6 月	2				2								
7 月	2		1		1				1			2	4
8 月	6	2	1		3	3		1	1	2		1	5
9 月	5	1		2	2	1		1	2	1		1	3
10月	3	1	1	1		2		2	1	2		1	12
11月	8		4		4		1		3	8		1	9
12月	5		1		4			1					

令和元年中

死傷者		焼 損 面 積 (㎡)			損 害 額 (千円)						火 災 一 件 当 た り の 損 害 額 (千 円)
死	傷	床	表	そ	合	建	収	車	そ	爆	
者	者	面	面	の	計	物	物	両	他	発	
積	積	他									
1	8	1,993	76	4,238	196,002	112,441	80,647	2,440	474		3,322
				45							
					2				2		2
		65	17	1	2,922	1,632	844		446		974
	1	518	3		31,106	13,826	16,810	466	4		15,553
				290							
		1		1,524	403	16	31	353	3		67
1	3	122	21	884	19,064	18,601	463				3,813
	1			711							
	1	18			1,823	1,752	71				912
		4	1		1,149	112	22	1,000	15		192
					49			49			49
	1				57,935	11	57,924				19,312
			5	138	37	31	3		3		9
		669	6	493	36,191	33,656	2,482	52	1		5,170
		239		141	25,446	24,631	775	40			12,723
	1				60	60					30
		357	23	11	19,815	18,113	1,222	480			3,963
1	3	119	20	1,524	19,104	18,610	494				3,184
		12	6	1	1,368	758	164		446		228
		357	24	115	19,383	18,131	1,203	49			2,423
	1	18			1,872	1,751	71	50			936
		238		502	13,236	11,352	1,839	42	3		2,206
	1			711	15				15		8
					15		15				8
	2	518	3	67	31,169	13,886	16,810	466	7		5,195
		56	6	11	1,968	986	149	833			394
		298	17		28,107	25,637	1,470	1,000			9,369
	1	375		1,007	79,762	21,329	58,430		3		9,970
		2		300	3	1	2				1

過去10年間の火災発生件数

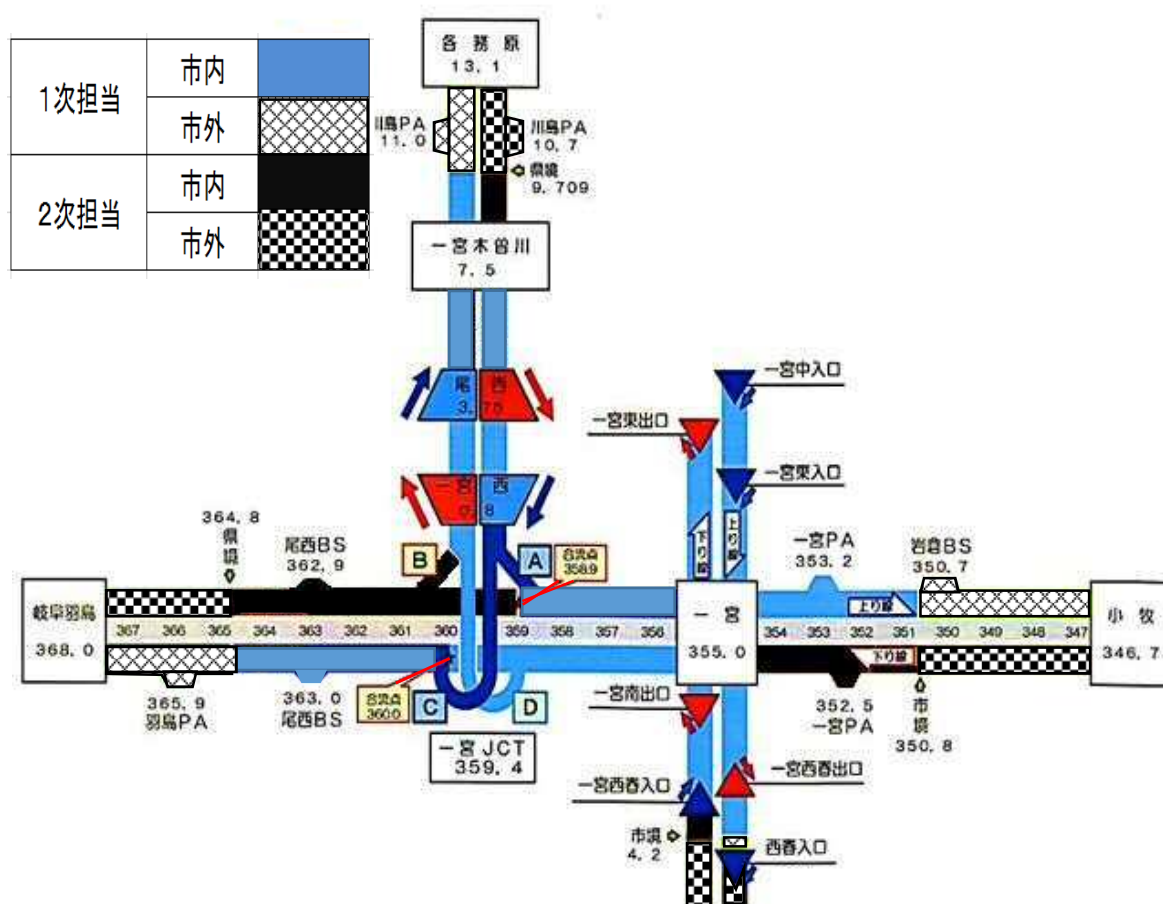
区 分	火 災 件 数				焼損床面積 (㎡)	死傷者		損 害 額 (千 円)
	合計	建物	車両	その他		死者	傷者	
平成22年	131	65	18	48	3,362	8	20	121,566
平成23年	131	84	13	34	2,616	7	15	162,609
平成24年	101	57	8	36	1,818	2	20	116,025
平成25年	87	51	12	24	3,307	3	6	201,673
平成26年	104	68	9	27	4,255	5	13	248,407
平成27年	83	48	5	30	1,800	5	9	87,236
平成28年	99	46	8	45	814	3	16	55,087
平成29年	80	45	9	26	1,574	2	13	96,788
平成30年	68	41	9	18	2,579	4	10	365,878
令和元年	59	29	6	24	1,993	1	8	196,002



高速道路の火災

平成10年12月13日、東海北陸自動車道が一宮 JCT～尾西 IC の開通により名神高速道路と結ばれ、さらに平成17年2月11日名古屋高速道路16号線が開通しました。

これに伴い本市の第1次担当区域は、下図に示すとおり広範囲になりました。



<過去10年間の出動件数>

区 分	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年
計	2	2	1(1)	1	2(1)	1	4(3)	2(1)	2	2(1)
車 両	2	2		1	2(1)	1	4(3)	2(1)	2	2(1)
その他			1(1)							

※()内は管轄外出動で内数で記載

防 警



消防車両の配置状況

消防本部・消防署

令和2年4月1日現在

区 分		車 両	
一宮消防署	本 部 ・ 本 署	指令車	2台
		救助工作車	1台
		指揮車	1台
		高規格救急自動車	2台
		広報車	9台
	浅井・西成消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	3台
		はしご付消防自動車	1台
		搬送車	1台
		支援車	1台
		水槽付消防ポンプ自動車	1台
		高規格救急自動車	1台
消防分署	千秋消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台
		高規格救急自動車	1台
		消防ポンプ自動車	1台
	分 署	指令車	1台
		広報車	1台
		水槽付消防ポンプ自動車	1台
		搬送車	1台
		高規格救急自動車	1台
	大和消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台
	丹陽消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台
尾西消防署	尾 西 消 防 署	指令車	1台
		はしご付消防自動車	1台
		指揮車	1台
		高規格救急自動車	2台
		水槽付消防ポンプ自動車	2台
		広報車	3台
		化学消防ポンプ自動車	1台
		搬送車	1台
	萩原消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台
		高規格救急自動車	1台
		消防ポンプ自動車	1台
木曽川消防署	今伊勢・奥消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台
		高規格救急自動車	1台
		消防ポンプ自動車	1台
	木 曽 川 消 防 署	指令車	1台
		高規格救急自動車	2台
		水槽付消防ポンプ自動車	2台
		広報車	2台
		救助工作車	1台
		搬送車	1台
	葉栗消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台
	北方消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台
		高規格救急自動車	1台

災害種別の出動状況

令和元年中

区 分			出動件数(件)	出動車両数(台)	出動人員(人)
合 計(1)+(2)+(3)			3,360	3,995	14,682
小 計(1)			58	420	1,531
火 災	建 物 火 災		28	311	1,135
	高 層 火 災				
	車 両 火 災		5	11	40
	そ の 他 の 火 災		24	92	335
	地 下 火 災				
	特 殊 車 両 火 災				
	航 空 機 火 災				
	指 定 建 物 火 災				
	危 険 物 施 設 火 災				
		車 両 火 災	1	6	21
	高速自動車道	特 殊 車 両 火 災			
		そ の 他 の 火 災			
小 計(2)			96	146	544
警 戒	特 別 ガ ス 漏 れ				
	ガ ス 漏 れ		4	16	63
	怪 煙		12	26	100
	漏 油		65	69	249
	火 災 警 戒		5	15	58
	そ の 他		10	20	74
小 計(3)			3,206	3,429	12,607
焼 損 事 故			22	138	504
誤 報			20	97	351
虚 報					
応 援 (火 災 ・ 警 戒)			8	13	48
救 急 支 援			3,156	3,181	11,704

月別庁外業務活動状況

令和元年中

業 務 種 別		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計		43,399	3,255	2,923	2,914	3,363	4,584	4,915	3,394	3,584	3,165	3,315	4,548	3,439
災 害 出 動	火災出動	58	6	6	8	2	6	2	2	5	5	3	8	5
	救急出動	18,626	1,913	1,379	1,398	1,444	1,502	1,471	1,593	1,761	1,534	1,440	1,514	1,677
	救急支援	3,156	378	259	215	213	247	257	220	269	257	241	279	321
	救助出動	234	17	18	27	16	12	15	17	29	23	25	16	19
	警戒出動	96	8	6	4	7	8	5	8	9	12	12	11	6
	搜索活動	1						1						
	応援出動	8		1	1	1	1	1			3			
	誤報等出動	20	1		2	1	2		2	4	2	2	2	2
焼 損 事 故		22	1	2	2	3	1	3	1	3	1	2		3
火 災 調 査		59	6	6	8	2	6	2	2	6	5	3	8	5
演 習 ・ 訓 練	署 所 訓 練	6,686	441	460	432	662	796	691	583	538	511	518	532	522
	全 署 訓 練	59	2	1	1	8	9	1	2	2	8	3	19	3
	合 同 訓 練	6					1	1			1	1	2	
広 報 ・ 指 導	消火器取扱 訓 練	66	1	6	3	3	5	9	5	2	10	7	12	3
	予 防 広 報	827			99	48			84	416	99		81	
	そ の 他	21	1	7	1	2	1		1		1	1	4	2
特 別 警 戒	警 戒 巡 回	24			3	2	2			4	6	1	6	
	行催事警戒	31			10	15	2		1			3		
警 防 調 査	消 防 水 利 調 査	540	28	48	11	44	71	37	28	23	144	21	15	70
	防 火 井 戸 性 能 試 験	181			91	88	1	1						
	空地等調査	274	82	27	31				1	1	2	44	54	32
	広 聴 調 査	324	23	18	24	12	27	27	20	24	48	15	40	46
	対象物調査	23		6	4	1	5	1	1	1	2	2		
	そ の 他	34	2	1	2		2	1	6	2		1	17	
	予 防 査 察	783	118	109	15	13	20	38	54	27	37	95	85	172
そ の 他	街頭消火器 点 検	487	40	51	32	32	40	33	53	29	51	42	38	46
	消 防 防 災 施 設 点 検	287	20	13	11	19	9	32	36	32	38	40	12	25
	救命講習・ 救急法指導	10,251	160	495	473	671	1,753	2,239	670	395	365	776	1,780	474
	消防団訓練 指 導	184	6	4	3	51	54	47	1	1		10	3	4
	そ の 他	31	1		3	3	1		3	1		7	10	2

消防活動用資器材の配置

令和2年4月1日現在

	区 分	合 計	配 置 場 所											
			本 署	浅 井・ 西成	千 秋	分 署	大 和	丹 陽	尾 西	萩 原	今 伊勢・ 奥	木 曽 川	北 方	葉 栗
一般 救 助 器 具	か ぎ 付 は し ご	4	2						1			1		
	三 連 は し ご	21	4	2	1	1	1	1	3	1	2	3	1	1
	金属製折りたたみはしご 又はワイヤーはしご	5	1		1		1	1		1				
	空 気 式 救 助 マ ッ ト	2	1									1		
	救 命 索 発 射 銃	2	1									1		
	サバイバースリング 又は救助用縛帯	37	12	2	2	2	1	1	4	2	2	6	2	1
	平 担 架	4	1						2			1		
	滑 車	41	20									21		
重 量 物 排 除 器 具	油 圧 ジ ャ ッ キ	16	2	2	2	1	1	1		1	2	2	1	1
	油圧スプレッダー(大型含む)	5	1		1			1				1		1
	マンホール救助器具	2	1									1		
	救助用支柱器具一式	1	1											
	可 搬 ウ イ ン チ	5	2		1							2		
	マット型空気ジャッキ一式	2	1									1		
破 壊 ・ 切 断 器 具	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	11	2		1	1		1	1		1	2	1	1
	油圧切断機(大型含む)	7	2		1			1				2		1
	空 気 鋸	3	2									1		
	空 気 切 断 機	4	2									2		
	ガ ス 溶 断 器	2	1									1		
	チ ェ ー ン ソ ー	2	1									1		
	鉄 線 鋏 (カッター)	36	5	4	3	2	3	2	4	3	3	4	1	2
	万 能 斧	44	10	4	3	2	3	3	5	2	3	6	1	2
	携帯用コンクリート破壊器具	2	1									1		
	削 岩 機	3	1						1			1		
測 定 器	ハ ン マ ド リ ル	4	2						1			1		
	放 射 線 測 定 器	10	6			1			1			2		
	可 燃 性 ガ ス 測 定 器	23	4	2	2	1	1	1	3	2	2	3	1	1
隊 員 保 護 器 具 (N B C 対 策)	有 毒 ガ ス 測 定 器	2	1									1		
	防 毒 マ ス ク	20	10									10		
	化 学 防 護 服	25	15						5			5		
	陽 圧 式 化 学 防 護 服	5	5											
	ポ ケ ッ ト 線 量 計	31	15			3			3			10		
	放 射 線 保 護 服	6	3									3		
	除 染 シ ャ ワ ー	1	1											

令和2年4月1日現在

	区 分	合 計	配 置 場 所											
			本 署	浅 井・ 西成	千 秋	分 署	大 和	丹 陽	尾 西	萩 原	今 伊勢・ 奥	木 曽 川	北 方	葉 栗
大規模災害	エアーテント	4	2						1			1		
	画像探索機	2	1									1		
	熱画像直視装置	2	1						1					
水難器具	潜水器具一式	10										10		
	救命胴衣	305	65	16	16	24	12	16	42	16	16	54	12	16
	水中投光器	10										10		
	救命浮環	41	7	3	3	2	2	2	7	3	3	6	1	2
	浮標	5										5		
	救命ボート	33	6	2	2	3	1	2	4	2	2	5	2	2
	船外機	8	2						3			3		
呼吸保護器具	空気呼吸器	102	21	8	8	4	4	4	16	8	8	13	4	4
	防塵マスク	115	20	10	10	5	5	5	15	10	10	15	5	5
	送排風機	2	1									1		
	酸素呼吸器	10	5									5		
	簡易呼吸器	5	2									3		
隊員保護器具	安全帯	25	18						3			4		
	防塵メガネ	81	9	11	3	5	5	6	6	10	10	9	4	3
	耐電手袋	18	7		1			1	3			5		1
	耐電衣	4	2									2		
	耐電ズボン	4	2									2		
	耐電長靴	8	4						2			2		
	携帯警報器	100	20	8	8	4	4	4	15	8	8	13	4	4
	耐熱服	8							5			3		
その他・山岳救助器具	投光器一式	25	6	2	2	1	1	1	4	2	1	3	1	1
	携帯投光器	109	19	10	8	9	8	4	18	4	8	12	2	7
	強力携帯型HIDサーチライト	29	12	1	1	1	1	1	4	2	2	2	1	1
	携帯無線機	70	15	4	4	5	3	3	14	4	4	9	2	3
	特定小電力トランシーバー	164	45	11	11	7	7	7	25	11	11	18	4	7
	緩降機	1	1											
	バスケット担架	4	2						1			1		
	応急処置用セット	31	5	3	2	2	2	2	4	2	2	4	1	2
	加圧排煙機	2	1									1		

消防水利の現況

令和2年4月1日現在

区 分	合 計	公 設						私 設					そ の 他			
		小 計	消 火 栓	防 火 井 戸	防火水槽			小 計	消 火 栓	防 火 井 戸	防火水槽		小 計	プ ール	貯 水 池	そ の 他
					40 ㎡ 未 満	40 ～ 100 ㎡ 未 満	100 ㎡ 以 上				40 ～ 100 ㎡ 未 満	100 ㎡ 以 上				
合 計	5,159	5,025	4,041	603	5	355	21	50		4	34	12	84	79	2	3
	3,599	3,553	3,004	169	4	355	21	46			34	12				
宮 西	153	148	133	5	1	6	3	1			1		4	4		
	121	120	110	1		6	3	1			1					
貴 船	133	131	128	1		1	1	1			1		1	1		
	117	116	114			1	1	1			1					
神 山	193	188	168	11		7	2	2			2		3	3		
	166	164	155			7	2	2			2					
大 志	97	96	88	1		4	3						1	1		
	94	94	87			4	3									
向 山	103	100	90	7		3							3	3		
	78	78	72	3		3										
富 士	152	150	139	6		4	1	1			1		1	1		
	136	135	128	2		4	1	1			1					
葉 栗	283	275	219	36		20		3			1	2	5	5		
	214	211	175	16		20		3			1	2				
西 成	492	481	377	54	1	48	1	1			1		10	10		
	386	385	300	35	1	48	1	1			1					
丹 陽 町	380	372	337	26		9		3			3		5	4	1	
	260	257	238	10		9		3			3					
浅 井 町	269	264	199	37		27	1	1			1		4	4		
	197	196	157	11		27	1	1			1					
北 方 町	151	149	111	8	1	29							2	2		
	121	121	91		1	29										
大 和 町	464	449	359	51		37	2	8		1	6	1	7	7		
	327	320	263	18		37	2	7			6	1				
今伊勢町	194	183	150	20	1	12		7			4	3	4	3	1	
	131	124	105	6	1	12		7			4	3				
奥 町	141	133	109	7		16	1	3			3		5	2		3
	66	63	46			16	1	3			3					
萩 原 町	341	335	264	55		15	1	2		1		1	4	4		
	231	230	197	17		15	1	1				1				
千 秋 町	309	299	243	31		25		3		2	1		7	7		
	240	239	191	23		25		1			1					
起	60	58	42	13		2	1	1				1	1	1		
	34	33	30			2	1	1				1				
小信中島	131	129	92	34		2	1						2	2		
	55	55	52			2	1									
三 条	183	179	127	45		4	3	2				2	2	2		
	93	91	84			4	3	2				2				
大 徳	127	124	95	26		3		1				1	2	2		
	46	45	42			3		1				1				
朝 日	327	323	234	84		5							4	4		
	112	112	95	12		5										
開 明	118	114	93	19		2		1			1		3	3		
	74	73	66	5		2		1			1					
木曽川町	358	345	244	26	1	74		9			8	1	4	4		
	300	291	206	10	1	74		9			8	1				

(備考) 下段は消防水利基準に該当するもの

応援協力計画

大規模な災害または特殊な災害が発生し、本市の消防力だけでは対処不可能な場合には関係協力機関に応援協力を要請し、消防隊の効率的な運用によりの確な災害活動を行い、被害を最小限に防止するため一宮市消防本部は、様々な応援協定等を締結しています。

令和2年4月1日現在

応援協定等	
1	大規模災害消防応援実施計画
2	愛知県内広域消防相互応援協定
3	愛知県消防広域応援基本計画
4	愛知県消防活動等援助要綱
5	愛知県緊急消防援助隊受援計画
6	愛知県下高速道路における消防相互応援協定
7	高速道路における消防相互応援協定(名神)
8	高速道路における消防相互応援協定(東海北陸)
9	愛知県防災ヘリコプター支援協定
10	愛知県防災ヘリコプター緊急運航要領
11	ドクターヘリ運航要領
12	尾張西北部地区消防相互応援協定
13	木曽川流域消防相互応援協定
14	大規模特殊災害時における広域航空消防応援実施要綱
15	消防相互応援協定(岐阜県各務原市)
16	航空事故に伴う災害発生時の連絡調整に関する協定
17	航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡調整に関する協定
18	災害活動の協力に関する協定
19	都市ガス災害対策に関する業務協約
20	LPガス災害対策に関する業務協約
21	災害時における消防用水等の確保に関する協定

緊急消防援助隊の概要

・緊急消防援助隊は、平成7年1月17日の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における人命救助活動等を、迅速かつ効果的に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、全国の消防本部に協力を得て平成7年6月に創設されたものであり、一宮市消防本部は、消火小隊5隊、救助小隊1隊、救急小隊2隊、その他の特殊装備小隊(はしご自動車)2隊、後方支援小隊1隊が登録されています。

緊急消防援助隊の派遣について

【平成16年 福井豪雨】

・平成16年7月17日から18日にかけて発生した豪雨により、福井県全域に被害が出たため、平成16年7月18日から19日までの間、緊急消防援助隊愛知県大隊として福井県に派遣隊数1隊(5名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第1次隊	7/18～7/19	消火小隊	5名	福井県福井市西木田地区で検索救護

【平成23年 東日本大震災】

・平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の津波の影響により、東北地方各地に被害が出たため、平成23年3月12日から4月24日までの間に、緊急消防援助隊愛知県大隊として宮城県に派遣隊数29隊(103名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第2次隊	3/12～3/15	消火小隊 救助小隊 後方支援小隊	12名	宮城県亶理郡亶理町及び山元町で搜索
第3次隊	3/13～3/16	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町及び山元町で搜索
第5次隊	3/17～3/22	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町及び山元町で搜索
第6次隊	3/20～3/25	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第7次隊	3/23～3/28	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第8次隊	3/26～3/30	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第9次隊	3/29～4/3	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第10次隊	4/1～4/6	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第11次隊	4/4～4/9	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第12次隊	4/7～4/12	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第13次隊	4/10～4/15	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第14次隊	4/13～4/18	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第15次隊	4/16～4/21	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第16次隊	4/19～4/24	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索

第1・4次隊の派遣については、本市消防本部該当なし

【平成26年 御嶽山噴火災害】

・平成26年9月27日に発生した御嶽山噴火に伴う救助活動のため、緊急消防援助隊愛知県大隊として長野県王滝村に派遣隊数3隊(15名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第11次隊	10/4～10/7	救助小隊	5名	活動拠点にて捜索についての情報収集 御岳剣ヶ峰山荘売店付近の捜索
第20次隊	10/11～10/12	救助小隊	5名	御嶽神社頂上奥社及び頂上山荘周辺の捜索
第24次隊	10/16～10/17	救助小隊	5名	派遣期間中に捜索中止が決定

※ 第11・20・24次隊以外の派遣については、本市消防本部該当なし

【平成30年 7月豪雨】

・平成30年7月7日、西日本を中心とした全国的に広範囲な集中豪雨が発生、河川の氾濫や浸水害のため、緊急消防援助隊愛知県大隊として岡山県倉敷市真備町に派遣隊数2隊(8名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第1次隊	7/7～7/8	救急小隊	3名	小田川北面冠水地区にて、トリアージ活動
第2次隊	7/7～7/10	救助小隊	5名	真備町冠水地区にて、救命ボートで救出活動

＜平成30年7月豪雨に伴う緊急消防援助隊活動写真＞

7月7日午前1時、一宮PAに集結した愛知県大隊

冠水地区手前にて救命ボート等資機材を準備



真備町地内にて愛知県大隊担当エリアを検索

救命ボートでの救出活動



救出活動は主に建物2階の高さ

玉島の森、体育館にて宿営



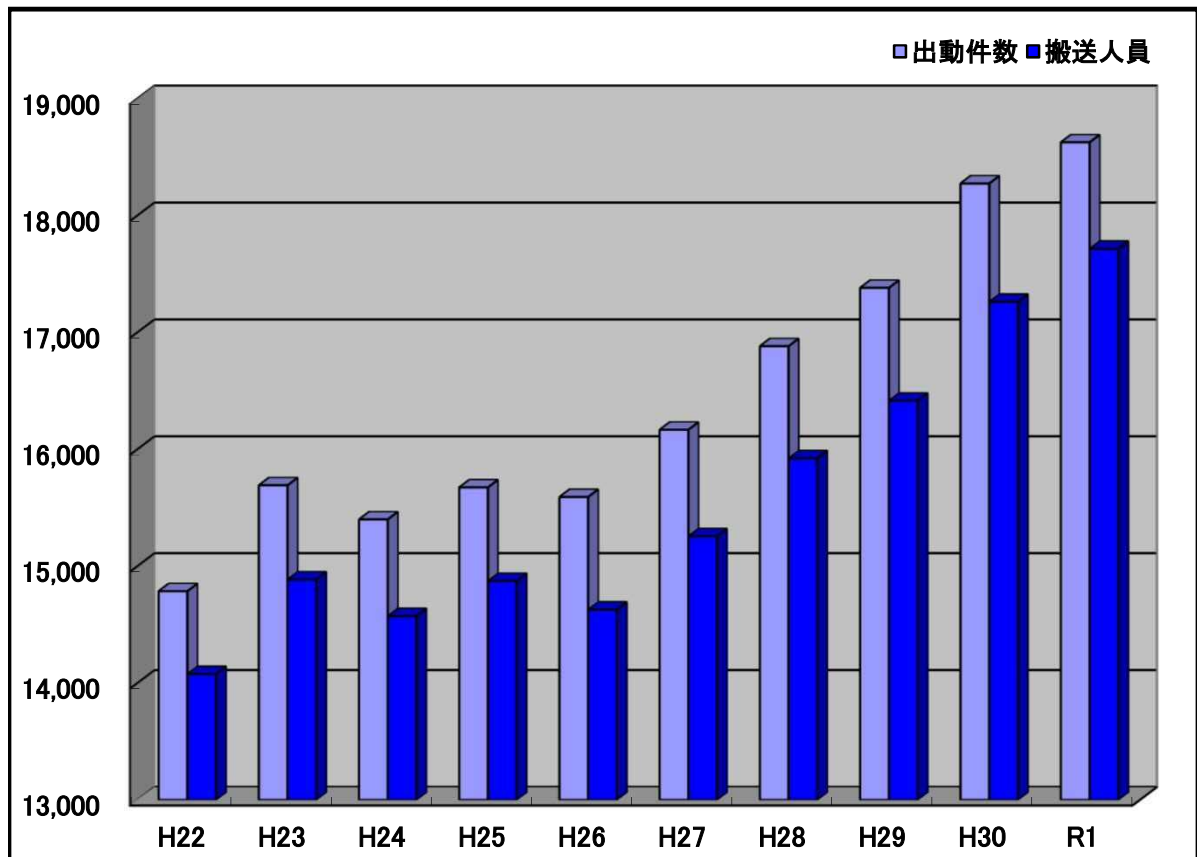
救 急



救 助



過去10年間の救急活動状況



(上段) 出動件数 / (下段) 搬送人員												
区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
H22	14,786	88		12	1,894	146	104	1,751	72	171	9,430	1,118
	14,078	14		1	2,011	146	106	1,698	62	132	9,061	847
H23	15,692	94	2	5	1,846	168	123	1,829	73	169	10,252	1,131
	14,887	15			1,955	167	128	1,773	67	126	9,781	875
H24	15,400	67		11	1,763	156	140	1,807	76	125	10,189	1,066
	14,574	17		2	1,846	155	140	1,740	64	92	9,713	805
H25	15,674	63		6	1,812	147	128	1,914	76	153	10,380	995
	14,874	8		3	1,902	147	132	1,836	74	107	9,883	782
H26	15,592	71	2	4	1,747	154	111	1,923	60	142	10,289	1,089
	14,629	14	2		1,834	154	115	1,844	55	101	9,700	810
H27	16,167	50	1	8	1,615	184	131	2,080	66	139	10,669	1,224
	15,257	6	1	2	1,716	180	131	1,995	57	109	10,109	951
H28	16,882	60		6	1,654	140	128	2,211	56	142	11,191	1,294
	15,923	16		1	1,732	137	131	2,132	46	106	10,591	1,031
H29	17,381	71	1	4	1,699	149	113	2,274	63	138	11,554	1,315
	16,416	13	1		1,782	144	113	2,183	55	106	10,985	1,034
H30	18,274	51	7	3	1,511	175	138	2,349	60	121	12,448	1,411
	17,262	9	7		1,551	174	141	2,272	49	88	11,875	1,096
R1	18,626	54		6	1,498	166	125	2,411	51	132	12,798	1,385
	17,716	9		1	1,523	165	126	2,347	48	94	12,313	1,090

曜日・月別救急出動件数

令和元年中

事故種別 区 分		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 等 輸 送	そ の 他	
曜 日 別	月	9		1	210	31	10	354	6	26	1,933	168	2	8	23	2,781
	火	9		1	219	30	11	348	3	30	1,805	187	3	19	17	2,682
	水	9			219	41	15	306	7	20	1,776	162	2	10	24	2,591
	木	10			197	20	6	338	6	18	1,775	165	4	20	30	2,589
	金	4		2	219	16	17	337	7	15	1,810	231	4	13	28	2,703
	土	4		1	234	18	24	353	7	10	1,879	114	3	11	32	2,690
	日	9		1	200	10	42	375	15	13	1,820	63	2	12	28	2,590
合 計		54		6	1,498	166	125	2,411	51	132	12,798	1,090	20	93	182	18,626
月 別	1月	8		1	91	7	6	235	5	13	1,437	94	1	5	10	1,913
	2月	5			109	13	8	177	3	8	961	77		7	11	1,379
	3月	7		1	122	4	10	185	5	16	938	88	2	7	13	1,398
	4月	4			141	14	10	188	4	14	955	92		11	11	1,444
	5月	1			128	15	8	190	2	6	1,022	97	4	10	19	1,502
	6月	4		1	118	12	14	163	4	11	1,033	85	2	8	16	1,471
	7月	1			121	24	11	186	6	14	1,087	115		14	14	1,593
	8月	6			134	19	16	218	2	7	1,226	96		5	32	1,761
	9月	3			139	15	15	169	8	12	1,065	75	4	6	23	1,534
	10月	5		2	117	14	9	212	3	10	961	88	1	3	15	1,440
	11月	5		1	128	15	11	222	7	7	1,009	89	2	8	10	1,514
	12月	5			150	14	7	266	2	14	1,104	94	4	9	8	1,677

曜日・月別救急搬送人員

令和元年中

事故種別 区 分		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
曜日 別	月	2		1	215	30	10	342	5	14	1,869	168	2,656
	火	4			218	30	11	346	3	23	1,730	186	2,551
	水	1			213	41	15	296	7	13	1,704	162	2,452
	木	1			193	20	6	332	4	16	1,722	165	2,459
	金	1			220	16	18	326	7	12	1,733	232	2,565
	土				237	18	24	340	6	6	1,805	114	2,550
	日				227	10	42	365	16	10	1,750	63	2,483
合 計		9		1	1,523	165	126	2,347	48	94	12,313	1,090	17,716
月 別	1月	3			101	7	6	230	5	8	1,368	94	1,822
	2月				110	13	8	172	3	6	915	77	1,304
	3月	1			119	3	10	179	5	12	910	88	1,327
	4月	1			137	14	10	180	3	6	922	92	1,365
	5月				127	15	8	182	2	3	985	97	1,419
	6月	1			126	12	14	156	4	7	991	85	1,396
	7月				122	24	11	183	5	11	1,055	115	1,526
	8月	2			137	19	16	214	3	6	1,172	96	1,665
	9月				143	15	15	163	6	10	1,027	75	1,454
	10月				123	14	9	213	3	9	934	89	1,394
	11月	1		1	138	15	11	217	7	7	969	88	1,454
	12月				140	14	8	258	2	9	1,065	94	1,590

地区別救急出動件数

令和元年中

地区 事故種別		合計	宮西	貴船	神山	大志	向山	富士	葉栗	西成	丹陽町	浅井町	北方町	大和町	今伊勢町	奥町	萩原町	千秋町	尾西	木曾川町	管外
合計		18,626	794	661	941	338	379	612	877	1,593	1,098	1,100	386	1,908	1,150	639	896	929	2,782	1,457	86
火災		54	3		4	3				2	8	6	2	8		2	2	5	5	3	1
自然災害																					
水難		6									1		2						3		
交通事故		1,498	60	53	57	21	40	78	55	134	115	63	22	199	75	29	69	64	226	132	6
労働災害		166	3	3	8		5	12	8	22	22	3	5	9	8	7	6	11	28	6	
運動競技		125	7	4	4		2	4	19	11	3			7	8	8	3	18	13	14	
一般負傷		2,411	98	74	133	48	50	73	130	201	121	148	55	232	168	93	118	114	356	199	
加害		51	1	1	3	3	1	2	1	2	5	2	1	8	1	1	4	4	7	3	1
自損行為		132	8	3	7	3	2	4	9	10	9	4	2	12	11	4	6	7	27	3	1
急病		12,798	424	444	681	239	248	426	635	1,104	776	824	291	1,368	797	414	669	545	1,902	997	14
その他	転送	1,090	85	70	21	16	25	8	7	90	20	43		44	71	78	14	156	192	87	63
	医師送	20				1			2	2	4		1	2			1		6	1	
	搬送機材等	93	93																		
	その他	182	12	9	23	4	6	5	11	15	14	7	5	19	11	3	4	5	17	12	

地区別救急搬送人員

令和元年中

地区 事故種別		合計	宮西	貴船	神山	大志	向山	富士	葉栗	西成	丹陽町	浅井町	北方町	大和町	今伊勢町	奥町	萩原町	千秋町	尾西	木曾川町	管外
合計		17,716	662	634	870	305	358	591	831	1,517	1,043	1,072	368	1,804	1,095	618	875	903	2,679	1,409	82
火災		9				1					3	2	1			1			1		
自然災害																					
水難		1									1										
交通事故		1,523	58	53	58	21	36	80	55	127	117	68	21	195	74	29	80	70	236	141	4
労働災害		165	3	3	8		5	12	8	22	22	3	5	9	8	7	6	10	28	6	
運動競技		126	7	4	4		2	4	20	11	3			7	8	8	3	18	13	14	
一般負傷		2,347	96	71	130	45	48	68	119	198	118	151	54	227	166	90	114	114	344	194	
加害		48	1	1	2	2	1	2	1	2	5	2	1	7		1	4	4	7	4	1
自損行為		94	6	3	5		2	3	8	8	5	2	2	7	8	2	5	4	21	2	1
急病		12,313	406	429	642	220	239	414	613	1,059	749	801	284	1,308	761	402	649	526	1,837	961	13
その他		1,090	85	70	21	16	25	8	7	90	20	43		44	70	78	14	157	192	87	63

現場到着所要時間別救急出動件数

令和元年中

現場到着 所要時間 事故種別	3 分 未 満	3 分 以 上 5 分 未 満	5 分 以 上 10 分 未 満	10 分 以 上 20 分 未 満	20 分 以 上	合 計	現場到着 最短所要時間 (分)	現場到着 最長所要時間 (分)	現場到着 平均所要時間 (分)
合 計	361	3,341	13,589	1,314	21	18,626	0	31	6.7
急 病	166	2,263	9,536	826	7	12,798	0	31	6.7
交 通 事 故	25	213	1,066	186	8	1,498	0	26	7.4
一 般 負 傷	35	432	1,786	155	3	2,411	0	22	6.7
上 記 以 外	135	433	1,201	147	3	1,919	0	22	6.1

收容所要時間別救急搬送人員

令和元年中

收容 所要時間 事故種別	10分未満		10分以上20分未満		20分以上30分未満		30分以上60分未満		60分以上120分未満		120分以上		合計	收容最短所要時間 (分)	收容最長所要時間 (分)	收容平均所要時間 (分)
		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外				
合計	4		2,889	34	10,543	382	4,191	546	85	41	4		17,716	4	148	25.9
急病	1		2,004	25	7,517	262	2,753	277	37	20	1		12,313	4	148	25.6
交通事故			241	3	765	21	499	45	18				1,523	10	84	27.7
一般負傷	2		366	4	1,392	59	581	63	4		2		2,347	7	137	25.9
上記以外	1		278	2	869	40	358	161	26	21	1		1,533	8	139	26.9

年齢区分・傷病程度別救急搬送人員

令和元年中

事故種別 区 分		合 計	火 災	自然災害	水 難	交通事 故	労働災 害	運動競 技	一般負 傷	加 害	自損 行為	急 病	そ 他
合 計	合 計	17,716	9		1	1,523	165	126	2,347	48	94	12,313	1,090
	死 亡	277				3			18		16	236	4
	重 症	1,081				40	4	2	36		11	825	163
	中等症	7,092	2		1	312	64	22	821	13	29	5,026	802
	軽 症	9,266	7			1,168	97	102	1,472	35	38	6,226	121
	その他												
新 生 児	小 計	110							1			7	102
	死 亡												
	重 症	9											9
	中等症	92										5	87
	軽 症	9							1			2	6
	その他												
乳 幼 児	小 計	861				39			171			597	54
	死 亡	4							1			3	
	重 症	21				1			1			8	11
	中等症	260				1			19			199	41
	軽 症	576				37			150			387	2
	その他												
少 年	小 計	756				192	2	84	70	2	9	372	25
	死 亡	1									1		
	重 症	15				4		1				3	7
	中等症	147				30		14	15	1	1	72	14
	軽 症	593				158	2	69	55	1	7	297	4
	その他												
成 人	小 計	4,999	7			845	116	37	346	36	64	3,286	262
	死 亡	30				2					8	19	1
	重 症	228				23	2	1	4		7	159	32
	中等症	1,448	1			150	45	8	86	9	24	938	187
	軽 症	3,293	6			670	69	28	256	27	25	2,170	42
	その他												
高 齢 者	小 計	10,990	2		1	447	47	5	1,759	10	21	8,051	647
	死 亡	242				1			17		7	214	3
	重 症	808				12	2		31		4	655	104
	中等症	5,145	1		1	131	19		701	3	4	3,812	473
	軽 症	4,795	1			303	26	5	1,010	7	6	3,370	67
	その他												

新 生 児 : 生後28日未満の者
 乳 幼 児 : 生後28日以上、満7歳未満の者
 少 年 : 満7歳以上、満18歳未満の者
 成 人 : 満18歳以上、満65歳未満の者
 高 齢 者 : 満65歳以上の者

救急高度化の推移

区 分	平 成 27 年	平 成 28 年	平 成 29 年	平 成 30 年	令 和 元 年
一 宮 市 人 口	386,410	386,094	386,105	385,777	385,160
救 急 出 動 件 数	16,167	16,882	17,381	18,274	18,626
人 口 1 万 人 当 た り の 出 動 件 数	418	437	450	474	484
高 規 格 救 急 車 運 用 台 数	11	11	11	11	11
救 急 救 命 士 数	84	85	87	87	90
気 管 挿 管 救 命 士 数	15	16	16	17	18
薬 剤 投 与 救 命 士 数	64	66	67	69	72
救 急 搬 送 人 員 (A)	15,257	15,923	16,416	17,262	17,716
心 肺 停 止 傷 病 者 搬 送 人 員 (B)	376	349	362	382	395
〔 救急隊により心肺機能停止の時点が 目撃された心肺停止傷病者搬送人員 〕 (C)	(28)	(28)	(20)	(37)	(29)
バ イ ス タ ン ダ ー C P R 件 数 (D)	234	235	251	247	255
心 肺 停 止 傷 病 者 搬 送 率 % (B / A)	3	2	2	2	2
バ イ ス タ ン ダ ー C P R 実 施 率 % (D / B)	62	67	69	65	65
〔 救急隊により心肺機能停止の時点が目撃された 心肺停止傷病者を除くバイスタンダーCPR実施率% 〕 (D / (B - C))	(67.2)	(73.2)	(73.4)	(71.6)	(69.7)

一 宮 市 人 口 : 各年の4月1日現在

気 管 挿 管 救 命 士 : 医師の具体的指示下において気管挿管の処置を行うことができる救命士

薬 剤 投 与 救 命 士 : 医師の具体的指示下において薬剤投与の処置を行うことができる救命士

バ イ ス タ ン ダ ー C P R : 居合わせた人による心肺蘇生法等の一次救命処置
(胸骨圧迫、人工呼吸などが実施されていたもの)

救急隊員の行った応急処置等件数

区 分		応 急 処 置		止 血	固 定	人 工 呼 吸	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	気 道 確 保				
		対 象 人 数	件 数 合 計						計	※1	※2	※3	※4
合 計	合 計	17,592	81,035	273	2,421	130	388	3,151	672	17	35	130	1
	死 亡	277	1,410		13	6	270	271	269	9	26	89	1
	重 症	1,069	5,648	6	81	58	106	634	204	6	7	36	
	中等症	7,011	33,249	76	915	63	12	1,812	183	2	1	5	
	軽 症	9,235	40,728	191	1,412	3		434	16		1		
	その他												
急 病	小 計	12,296	56,640	58	376	112	334	2,573	584	15	23	121	1
	死 亡	236	1,209		1	5	231	232	232	8	19	83	1
	重 症	824	4,449		14	49	91	496	179	6	4	33	
	中等症	5,017	24,038	10	178	56	12	1,484	159	1		5	
	軽 症	6,219	26,944	48	183	2		361	14				
	その他												
交 通 事 故	小 計	1,517	7,289	37	826	2	8	89	12			1	
	死 亡	3	18		2	1	3	3	3				
	重 症	40	264	1	39	1	5	34	9			1	
	中等症	312	1,655	21	199			34					
	軽 症	1,162	5,352	15	586			18					
	その他												
一 般 負 傷	小 計	2,332	10,952	149	1,038	11	24	114	43	1	12	5	
	死 亡	18	82		1		18	18	18	1	7	4	
	重 症	36	197	2	18	6	6	15	10		3	1	
	中等症	820	3,932	40	442	4		52	13		1		
	軽 症	1,458	6,741	107	577	1		29	2		1		
	その他												
上 記 以 外	小 計	1,447	6,154	29	181	5	22	375	33	1		3	
	死 亡	20	101		9		18	18	16			2	
	重 症	169	738	3	10	2	4	89	6			1	
	中等症	862	3,624	5	96	3		242	11	1			
	軽 症	396	1,691	21	66			26					
	その他												

※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保

※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去

※3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、
ラリングアルマスク等を使用しての気道確保

※4 気管挿管による気道確保

令和元年中

区 分		保 温	被 覆	在 宅 療 法	除 細 動	静 脈 路 確 保	そ の 他	血 圧 測 定	心 音・呼 吸 音	血 中 酸 素 飽 和 度	心 電 図	血 糖 測 定	エ ピ ペ ン 投 与	ブ ド ウ 糖 投 与	薬 剤 投 与
合 計	合 計	187	1,013	216	41	130	16,724	16,759	5,902	17,160	15,698	101		21	48
	死 亡		1	1	10	35	185	15	15	15	275	2			27
	重 症	21	15	26	29	42	939	971	460	993	1,033	10		1	19
	中等症	81	250	134	2	39	6,711	6,839	2,610	6,982	6,470	57		11	2
	軽 症	85	747	55		14	8,889	8,934	2,817	9,170	7,920	32		9	
	その他														
急 病	小 計	137	73	198	39	122	11,963	11,731	4,705	11,955	11,513	101		21	45
	死 亡		1	1	9	35	160	12	14	13	234	2			27
	重 症	19	2	26	28	37	760	757	387	762	815	10		1	16
	中等症	64	29	128	2	37	4,929	4,922	2,166	4,994	4,798	57		11	2
	軽 症	54	41	43		13	6,114	6,040	2,138	6,186	5,666	32		9	
	その他														
交通事故	小 計	6	221			2	1,374	1,487	600	1,502	1,122				1
	死 亡						1	1	1		3				
	重 症	1	7			2	32	35	24	35	38				1
	中等症	3	66				284	311	159	312	266				
	軽 症	2	148				1,057	1,140	416	1,155	815				
	その他														
一般負傷	小 計	22	617	16	1	5	2,179	2,209	343	2,284	1,896				1
	死 亡				1		8				18				
	重 症		3			2	30	31	8	32	33				1
	中等症	5	125	5		2	777	810	127	819	711				
	軽 症	17	489	11		1	1,364	1,368	208	1,433	1,134				
	その他														
上記以外	小 計	22	102	2	1	1	1,208	1,332	254	1,419	1,167				1
	死 亡						16	2		2	20				
	重 症	1	3		1	1	117	148	41	164	147				1
	中等症	9	30	1			721	796	158	857	695				
	軽 症	12	69	1			354	386	55	396	305				
	その他														

高速道路の救急活動状況

令和元年中

区 分		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出 動 件 数	合 計		91	2	3	5	13	6	13	6	13	9	5	11	5
	事故種別	火 災	2									1	1		
		急 病	8		1		1	2			1	1		1	1
		交通事故	76	2	2	5	11	4	12	6	11	6	4	9	4
		上記以外	5				1		1		1	1		1	
	地域別	市 内	82	2	3	4	12	6	11	5	12	6	5	11	5
		市 外	5			1			1			3			
		県 外	4				1		1	1	1				
	不 搬 送		11			1	3		1		1	2	1	1	1
	搬 送 人 員	合 計		101	2	3	5	12	10	11	8	17	7	5	16
		火 災													
		急 病	8		1		1	2			1	1		1	1
		交通事故	93	2	2	5	11	8	11	8	16	6	5	15	4
性 別		男	75	1	2	2	7	7	9	7	14	6	3	13	4
		女	26	1	1	3	5	3	2	1	3	1	2	3	1
傷病程度別		死 亡													
		重 症	7				2		1	1			1	2	
		中 等 症	20	1		1	4	2	2	2	2	1		3	2
		軽 症	74	1	3	4	6	8	8	5	15	6	4	11	3
	そ の 他														

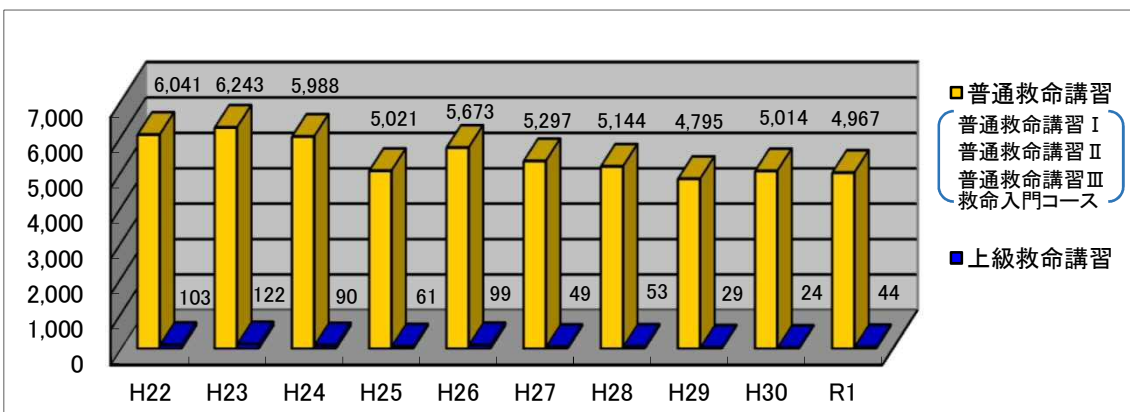
応急手当等の普及活動状況

〈救命講習等実施状況〉

令和元年中

普通救命講習								上級救命講習		応急手当普及員講習	
普通救命講習Ⅰ		普通救命講習Ⅱ		普通救命講習Ⅲ		救命入門コース					
回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
114	4648	0	0	11	265	3	54	3	44	5	101

〈救命講習等年別修了者数〉



〈一般救急講習実施状況〉

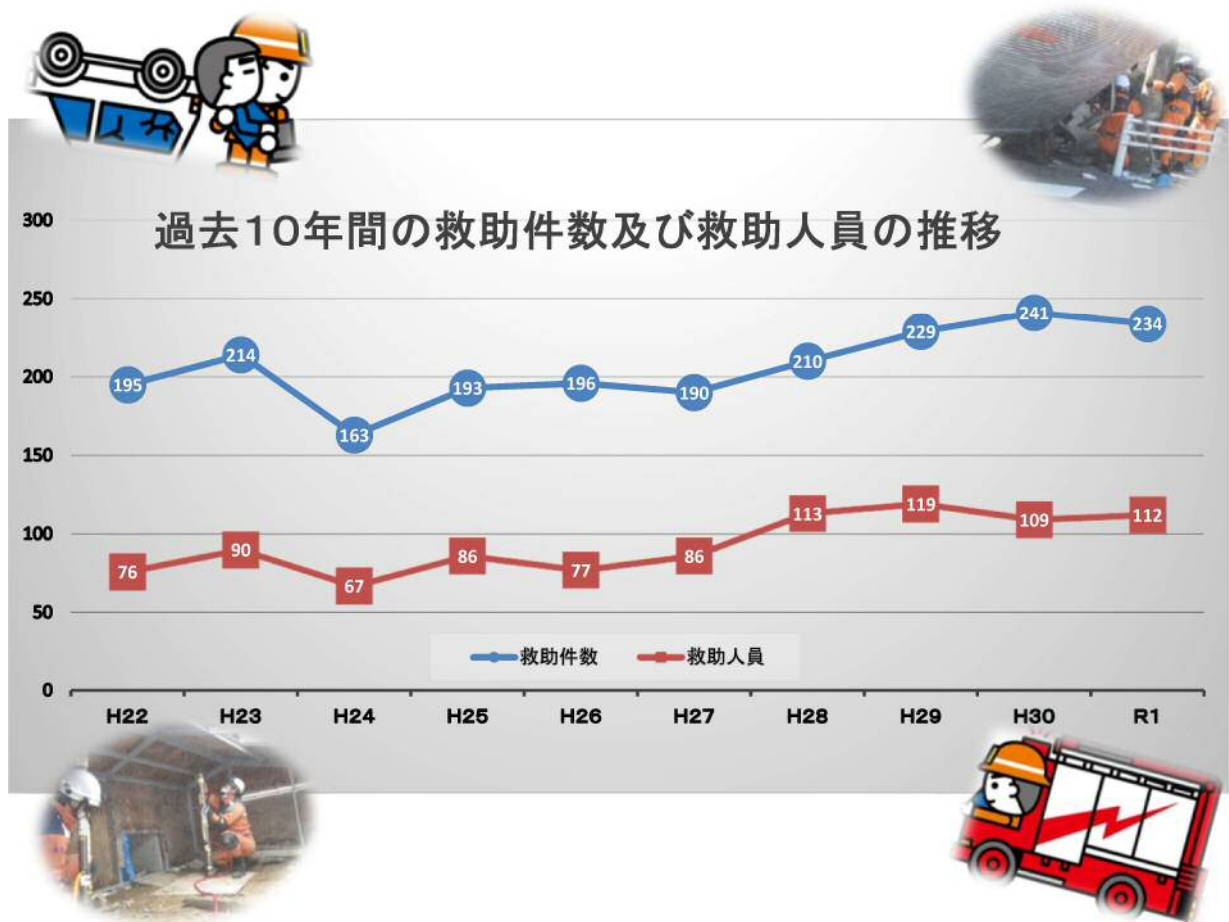
令和元年中

区	分	合 計	学 校	保 育 園	防 災 会	各種団体	事 業 所	そ の 他
平成22年	実施回数	220	78	5	20	70	37	10
	参加人員	9,987	3,762	86	2,606	2,318	1,000	215
平成23年	実施回数	210	80	13	27	54	34	2
	参加人員	8,609	3,191	283	1,705	1,542	878	1,010
平成24年	実施回数	232	89	12	31	55	44	1
	参加人員	10,156	3,999	234	3,052	1,898	930	43
平成25年	実施回数	237	88	9	31	60	45	4
	参加人員	8,042	3,373	125	1,645	1,605	1,191	103
平成26年	実施回数	270	95	9	42	65	57	2
	参加人員	12,483	4,584	176	4,183	2,265	1,249	26
平成27年	実施回数	267	97	12	60	49	40	9
	参加人員	11,699	4,207	318	3,664	2,172	1,032	306
平成28年	実施回数	275	102	8	59	66	37	3
	参加人員	13,867	4,946	178	5,949	2,089	643	62
平成29年	実施回数	278	101	11	53	58	43	12
	参加人員	13,082	4,138	281	4,732	1,894	854	1,183
平成30年	実施回数	261	101	7	50	37	61	5
	参加人員	10,914	3,983	206	3,625	1,333	1,610	157
令和元年	実施回数	263	94	10	42	53	61	3
	参加人員	10,251	3,736	268	2,856	1,596	1,746	49

救助活動状況

令和元年中

区 分	出動件数	出 動		活動件数	救助人員
		台 数	人 員		
合 計	234	1,277	4,645	125	112
火 災	30	368	1,346	3	
交 通 事 故	59	299	1,060	31	37
水 難 事 故	5	27	95	5	3
風 水 害 等 自 然 災 害 事 故					
機械による事故	6	24	90	3	4
建物等による事故	78	320	1,181	65	54
ガス及び酸欠事故	7	38	139	4	2
破 裂 事 故	1	4	16		
そ の 他 の 事 故	48	197	718	14	12



月別救助出動状況

令和元年中

区 分		合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	出動件数	234	17	18	27	16	12	15	17	29	23	25	16	19
	出動人員	4,645	361	395	552	261	234	276	286	581	403	508	452	336
火 災	出動件数	30	3	5	5	1	1	1	1	3	1	2	5	2
	出動人員	1,346	119	196	210	40	53	36	36	181	43	105	255	72
交 通 事 故	出動件数	59	6	1	7	4	2	4	3	5	13	6	3	5
	出動人員	1,060	94	20	113	60	38	79	57	92	226	111	80	90
水 難 事 故	出動件数	5	1	1	1			1					1	
	出動人員	95	22	15	20			24					14	
風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	出動件数													
	出動人員													
機 械 に よ る 事 故	出動件数	6				1	3	1					1	
	出動人員	90				16	45	15					14	
建 物 等 に よ る 事 故	出動件数	78	4	8	7	5	3	6	9	13	2	6	4	11
	出動人員	1,181	82	118	107	73	47	92	133	192	30	88	59	160
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出動件数	7				1	1		1			3		1
	出動人員	139				15	20		15			75		14
破 裂 事 故	出動件数	1		1										
	出動人員	16		16										
そ の 他 の 事 故	出動件数	48	3	2	7	4	2	2	3	8	7	8	2	
	出動人員	718	44	30	102	57	31	30	45	116	104	129	30	

救助訓練等実施状況

陸上

令和元年度中

月	日	訓練名	場所
5月	21日	テロ災害対策共同実動訓練	光明寺公園球技場及びその付近一帯
8月	7・8日	土砂災害対応訓練	岐阜県消防学校(土砂災害訓練場)
9月	4・5・6・9日	救命索発射銃取扱い訓練	北方町北方地内(河川敷ソフトボール場)
10月	31日	解体予定建物を利用した救助訓練	神山いきいきセンター(旧神山としよりの家)
11月	1日	解体予定建物を利用した救助訓練	神山いきいきセンター(旧神山としよりの家)
	29日	第22回全国消防救助シンポジウム	響きの森文京公会堂(シビックホール)
	30日	車両構造講習会及び訓練会	東海旅客鉄道株式会社(名古屋工場)
2月	10日	車両構造講習会(新幹線)	東海旅客鉄道株式会社(名古屋車両所)
3月	4・5日	震災対応訓練	岐阜県消防学校(CSR訓練場)

水難

令和元年度中

月	日	訓練名	場所
4月	17・18日	木曽川消防署ウレタンボート取扱い訓練	木曽川左岸(宝江ボート着水場)
	15日	潜水基本訓練	一宮市温水プール
	16・23日	尾西消防署救命ボート取扱い訓練	木曽川左岸(富田ボート着水場)
	22・23日	潜水ランク認定訓練及び潜水訓練	航空自衛隊小牧基地(基地体育訓練施設)
5月	8・13日	潜水ランク認定訓練及び潜水訓練	航空自衛隊小牧基地(基地体育訓練施設)
	27日	潜水基本訓練	一宮市温水プール
	14・15日	基本訓練(河川ランク認定)及び各種検索訓練	木曽川左岸(富田ボート着水場)
6月	6日	岐阜県防災航空隊及び3消防本部合同水難救助訓練(一宮市・羽島市・羽島郡)	木曽川右岸(羽島市正木町地内)
7月	30・31日	救助隊及び警防隊による水面救助訓練	木曽川左岸(宝江ボート着水場)
9月	17日	三市消防本部合同水難救助訓練(一宮市・稲沢市・羽島市)	木曽川左岸(稲沢市祖父江町地内)
10月	21日	潜水基本訓練	一宮市温水プール
11月	11日	潜水基本訓練	一宮市温水プール
12月	3・4日	ドライスーツ潜水訓練	木曽川左岸(宝江ボート着水場)
	16日	潜水基本訓練	一宮市温水プール
1月	20日	潜水基本訓練	一宮市温水プール
2月	10日	潜水基本訓練	一宮市温水プール
3月	16日	潜水基本訓練	一宮市温水プール

消 防 五 則

- 一、自分の安全はまず自分から確保します
- 一、平素から業務に耐える気力、体力を錬成します
- 一、いかなる事態においても沈着冷静な行動をとります
- 一、各種資器材の機能、性能を把握し安全操作に習熟します
- 一、災害現場は危険が伴うことを自覚し常に警戒心を保持します

制定 平成二年一月一日

制 定 主 旨

「市民の生命・身体及び財産を災害から守る」という消防の組織目標であり重大な使命の遂行には、常に安全に対する配慮と認識が重要です。

安全管理は、任務遂行を前提とする積極的行動対策と考え制定しました。

2020 年版 消防年報（第 70 号）

令和 2 年 7 月発行

編集・発行

一宮市消防本部総務課

〒491-0862

一宮市緑1丁目1番10号

TEL 0586-72-0119

FAX 0586-71-1191



一宮市消防本部
《昭和 23 年創設》



一宮市マスコットキャラクター
「いちみん」消防 Ver.